

2 仮設工事	① 足場その他 (2.2.4) ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	18 錆止め塗装 (7.8.2) 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 塗料の種類 (7.8.4)(18.3.2) 下記以外の塗料の種類は、18章による ・鉄鋼面の錆止め塗料の種類 (表18.3.1) 屋外 ・A種 ・B種 ・垂れめっき鋼面の錆止め塗料の種類 (表18.3.2) ・A種 ・B種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 (表18.3.1) ・A種 ・B種 耐火被覆が接着する面の塗料の種類	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) 材料 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) 寸法(mm) 行・列呼び 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考 ※空洞ブロックC(16) 120 ・無 ・有 ・塀高さ2m以下 ・空洞ブロック08 100 ・無 ・有 ※積層ブロック
	① 監督職員事務所 (2.3.1) ※設ける ○設けない(現場敷地外に設置することも可)。 ・規模、仕上げの程度、設備、並びに備品等の種類及び数量は現場説明書による。 監督職員事務所の規模 (㎡) ・10程度 ・20 ○35 ・65 ・100程度 監督職員事務所の備品等 ※適用する(以下の情報環境整備の他監督職員の指示による) ・パソコン() ・標準ソフト() ・CADソフト() ・プリンター() ・インターネット接続環境()	⑥ コンクリートの仕上り 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4) 種別 適用箇所 A種 B種 C種 図示 図示 図示	19 耐火被覆 (7.9.2~8) 種別 (7.9.2~8) ・耐火材吹き付け(・ロウケル(・乾式・半乾式・湿式)・) ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・図示 所要性能(区分) ・30分耐火() ・1時間耐火() ・2時間耐火() ・3時間耐火() 建築基準法に基づく主要構造部の耐火時間 (7.9.2~7) 耐火構造の耐火時間(時間)	2 コンクリートブロック構壁及び欄	2 材料 (8.3.2)(表8.3.1) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) 寸法(mm) 行・列呼び 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考 ※空洞ブロックC(16) 120 150 ・無 ・有 ※塀
② 工用水	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(※有償 ○無償)	⑦ 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ○打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ○20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ○図示による	20 アンカーボルトの設置等	3 材料、構造 (8.4.2~8.4.5)(表8.4.2~表8.4.4) パネルの区分 用途 形状 表面加工 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 幅及び長さ(mm) 耐火性能(時間) 構造の種類 ・外壁用 ・コナ ・意匠 ・有(1) ・A種 ・B種 ・間仕切 ・一般 ・平 ・図示 ・有(1) ・C種 ・D種 ・壁用 ・コナ ・意匠 ・無 ・E種 ・屋根 ・版用 ・有(0.5) ・F種 ・床版用 ・有() ※標準仕8.4.5による	
③ 工用電力	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(※有償 ○無償)	⑧ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ※標準仕様書6.8.2(1)(7)、(4)による ○合板(厚さ※12mm) ○断熱材の兼用した型枠 使用箇所・仕様 ※19章内装工事13断熱材による ・図示による ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による	21 軽量形鋼構造	3 材料、構造 (8.4.2~8.4.5)(表8.4.2~表8.4.4) パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2) ・図示による ・外壁パネル構造、屋根及び床パネル構造 (8.4.3)(8.4.5) 耐風圧性能 (建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応) 耐震性能 (建築基準法に基づく地震力の(・1・1.25・1.5)倍の地震力に対応) ・間仕切壁パネル構造 (8.4.4) 耐風圧性能 (建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応) 耐震性能 (建築基準法に基づく地震力の(・1・1.25・1.5)倍の地震力に対応) パネル幅の最小限度(mm) (8.4.3)(8.4.4)(8.4.5) ※300・300未満(・図示) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地目地幅(mm) (8.4.3)(8.4.4) ※10~20 ・図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 (8.4.3)(8.4.4) ・適用する ・適用しない	
④ 仮設物撤去その他 (2.4.1)	※仮設物の撤去及び建物引渡しまでの工用電気、水道、ガス等の料金(基本料金を含む)は請負者の負担とする。	9 軽量コンクリート	22 溶融垂れめっき	4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2) 材料、構造 厚さ ※50mm以上 (8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2) パネルの種類 形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考 ・外壁 ・F(フラットパネル) ・50・60 ・600 ・A種 ・B種 ・D(デザインパネル) ・50・60 ・60 ・間仕切壁 ・F(フラットパネル) ・50・60 ・600 ・B種 ・C種 ・D(デザインパネル) ・50・60 ・60 ・T(タイルベースパネル) ・60	
⑤ 仮囲い	高さ ・H=3m ・H=1.8m 仕様 ・鋼板扉 ・ネットフェンス ○図示 ○図示	10 寒中コンクリート		厚さ ・50mm未満 (8.5.2~4)(表8.5.1~2) 施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 耐火性能 ※フラットパネル ・ ・ ※無し ・有り ()	
6 指定仮設	・無し ・有り()	11 暑中コンクリート		・外壁パネル構造、屋根及び床パネル構造 (8.5.3) 耐風圧性能 (建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応) 耐震性能 (建築基準法に基づく地震力の(・1・1.25・1.5)倍の地震力に対応) ・間仕切壁パネル構造 (8.5.4) 耐風圧性能 (建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応) 耐震性能 (建築基準法に基づく地震力の(・1・1.25・1.5)倍の地震力に対応) 耐火構造以外の目地及びすき間の処理 (8.5.3)(8.5.4) ※パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度(mm) (8.5.3)(8.5.4) ※300・300未満(・図示) パネルの相互の目地幅(mm) (8.5.3)(8.5.4) 長辺の目地幅 ・10以上 ・図示による 短辺の目地幅 ・15以上 ・図示による 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅(mm) (8.5.3)(8.5.4) ※15程度(シーリング材を充填) ・図示による 溝掘及び開口部の措置 (8.5.5) やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ・図示による	
3 土工事	1 埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1) 埋戻し及び盛土の種類 ※標準仕様書表3.2.1による ・A種 施工箇所() ・B種 施工箇所() ・C種 施工箇所() ・D種 施工箇所() 土質() 受渡場所()	12 マスコンクリート			
	2 建設発生土の処理 (3.2.5) ※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に散均し	13 無筋コンクリート			
	3 山留めの撤去 (3.3.3) ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる ※鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・山留め壁の存置 ・行方(存置範囲 ※図示)	14 流動化コンクリート			
4 地業工事	※地業工事 (本章は、特記なき限り構造特記仕様書による) 1 支持地盤等 2 既製コンクリート杭地業 3 鋼杭地業 4 場所打ちコンクリート杭地業 5 砂利地業 6 砂地業 7 捨コンクリート地業 8 床下防湿層 (4.6.2) 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 (4.6.5) ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く) ・図示による	15 コンクリートの単位水量測定			
	5 鉄筋工事 (本章は、特記なき限り構造特記仕様書による) 1 鉄筋 2 溶接金網 (5.2.2) 鉄線の形状等 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子	16 その他			
	6 コンクリート工事 (本章は、特記なき限り構造特記仕様書による) 1 コンクリートの類別等 2 セメント 3 骨材 4 混和材料	7 鉄骨工事 (本章は、特記なき限り構造特記仕様書による) 1 鉄骨製作工場 2 施工管理技術者 3 鋼材 4 高力ボルト 5 普通ボルト 6 アンカーボルト 7 溶接材料 8 ターンバックル 9 床構造用デッキプレート 10 スタッド 11 レール及びその付属品 12 柱底均しモルタル 13 製作精度 14 鉄骨の仮組 15 溶接技能者の技量付加試験 16 溶接接合 17 溶接部の試験			

1 長尺金属板葺 2 折板葺 3 粘土瓦葺 4 とい

5 ルーフドレイン ① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ② 鉄鋼の垂鉛めっき ③ 軽量鉄骨天井下地 ④ 軽量鉄骨壁下地 5 金属成形板張り

6 アルミニウム製笠木 7 仕上げ塗材仕上げ

建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

15 左官工事(入替)	8 マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種 (15. 7. 2)(表15. 7. 1)	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16. 3. 2)	16 樹脂製建具	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16. 3. 2)	16 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)	15 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	9 しっくい塗り	下地 () (15. 10. 1)	耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 (16. 3. 2)	⑦ 鋼製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 4. 2)	⑩ 木製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	10 こまい壁塗り	材料 (15. 10. 2)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	⑧ 鋼製軽量建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 5. 2)	11 木製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	11 ロックウール吹付け	材料 (15. 11. 2)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	9 ステンレス製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 6. 2)	12 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	12 防火戸	・建具表による (16. 1. 3)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	10 木製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 7. 2)	13 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	13 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16. 1. 4)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	11 木製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 8. 2)	14 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	14 防犯建物部品	・適用する(適用箇所) ・建具表による (16. 1. 6)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	12 鋼製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 9. 2)	15 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	15 アルミニウム製建具	性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) (16. 2. 2)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	13 鋼製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 10. 2)	16 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	16 網戸等	防虫網の材料 (16. 2. 3)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	14 鋼製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 11. 2)	17 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)
	17 防火戸	・建具表による (16. 1. 3)	外部に面する建具の種類 (16. 3. 2)	15 鋼製建具	性能値等(建具符号は建具表による) (16. 12. 2)	18 鋼製建具	※A種 ・B種 (16. 7. 2)		シャッターの種類 ・管理用シャッター (16. 11. 2)

16 建具工事(続き)	19 ガラスブロック	材料等 (16.14.5)	3 PCカーテンウォール	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による (17.3.2)	⑤ 錆止め塗料塗り	(18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)	⑦ カーベット敷き	・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)		
	20 倍強度ガラス及び強化ガラス	性能 (17.1.3)	4 一般事項	①9 内装工事	① 接着剤	② ビニル床シート	③ ビニル床タイル	④ 特殊機能床	⑤ ビニル幅木	⑥ ゴム床タイル
17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等	性能 (17.1.3)	2 メタルカーテンウォール	① 材料	② 赤地ごしえ					
21 塗装工事	1 取付方法、性能等	性能 (17.1.3)	2 メタルカーテンウォール	② 赤地ごしえ						

ユニット及びその他の工事へ続き

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 16, 17, 18) and Item Description (e.g., カーテンレール, ブレキャストコンクリート). Includes material specifications, dimensions, and performance requirements.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 27, 28, 29) and Item Description (e.g., 旗竿, 旗竿受金物). Includes material types (e.g., SUS 304), dimensions, and installation methods.

排水工事

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 3) and Item Description (e.g., 1 屋外雨水排水, 2 鉄製ふた). Includes material types, dimensions, and performance requirements for drainage systems.

舗装工事

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 3) and Item Description (e.g., 1 路床, 2 路盤, 3 アスファルト舗装). Includes material specifications, dimensions, and performance requirements for paving and road construction.

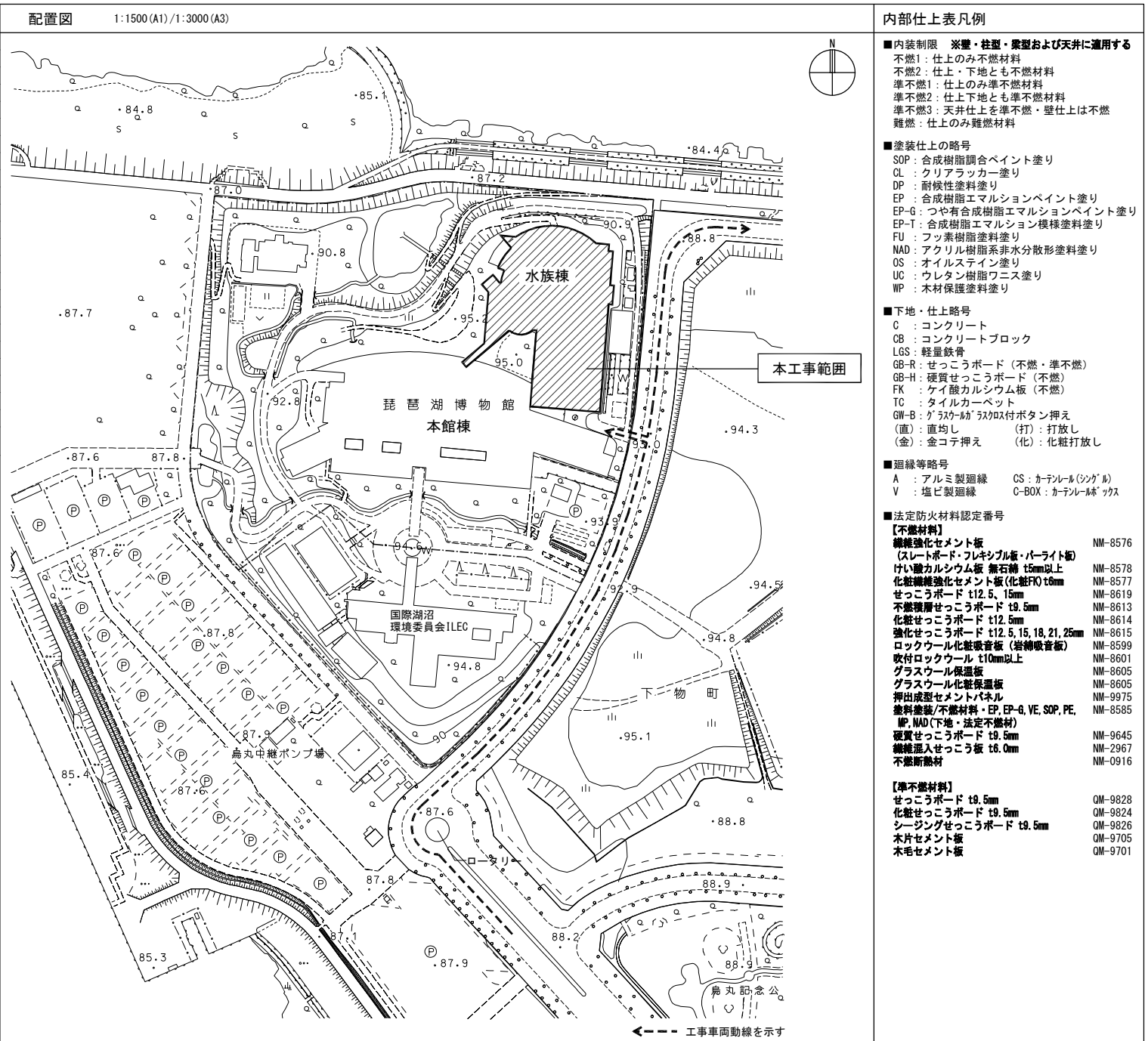
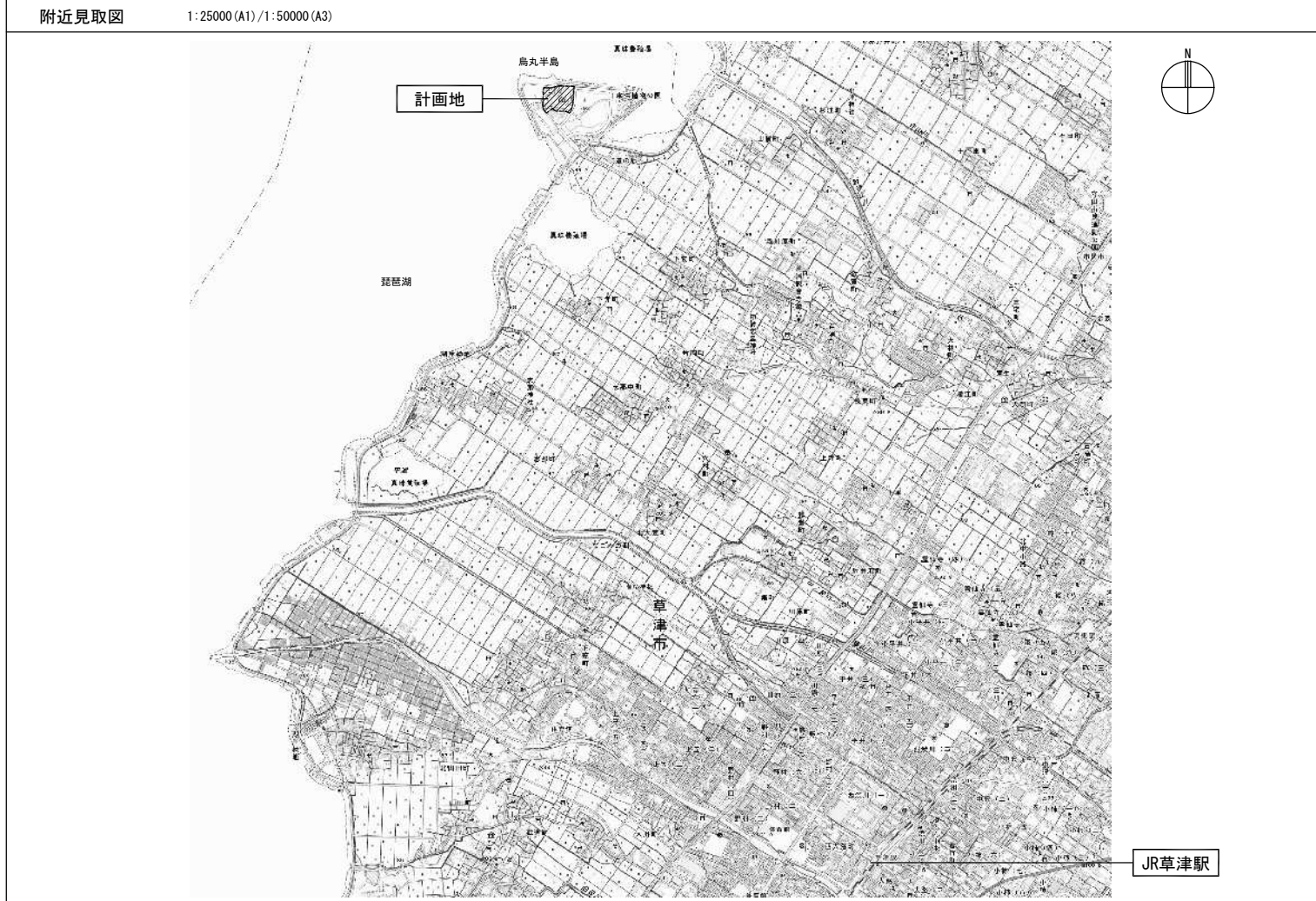
<p>23 水構</p> <p>① 水構内アンカー</p> <p>② 水構防水トップコート</p> <p>③ 水張り試験</p> <p>④ アク抜き</p>	<p>○新設アンカーセット後のアンカー裏り防水は防水業者の施工範囲とする。</p> <p>○トップコートは劣化のあるものとし、色あせや割れが生じないものとする。</p> <p>○基部防水取合いの納まりは図示による。</p> <p>○水構内面シーリング材は全て成分等シリコンシーリング材モジュラスタイプとする。</p> <p>○水張り試験はアクリル・ガラス施工後、防水工事完了後24時間経過後に実施を監督員に提出する。</p> <p>○水張り試験後の修繕等の際施工アンカー打ちは行わないものとし、やむを得ず水張り試験後に施工アンカーを打ち込む場合は、打ち込み後、改めて水張り試験を行う。</p> <p>○コンクリート、防水、修繕工事終了後、十分なアク抜き期間を設け、PH値の測定を行うこと。水質はPH7.0～7.5を目安とする。</p>	<p>26 その他</p> <p>① 水漏し水・生物飼育環境</p> <p>② アクリルガラス・水構ガラス</p> <p>③ 飼育生物への配慮</p>	<p>水構打面にあたり、スラブと立上り壁部分、既設部分と新設部分などに打継ぎが無いように、可能な限り一体打設とすること</p> <p>アクリルガラス・水構ガラス施工に先立ち強度計算書を提出すること。施工後は防水工事と併せて水張り試験（24時間）を行うこと。</p> <p>木造部、水抜き及び閉鎖する仮設管理センターでは、工事中も継続的に生物の飼育を行う。飼育生物周辺での躯体はつり、掘削等は騒音・振動・熱線の低減を図る工法を採用すること。なお、これらの対策を講じた上で、工事中に飼育生物に異常の兆候が見られた場合、工事を中断し監督員、管理棟博物館（水抜き担当）の指示を受けること。</p> <p>騒音低減対策として、以下の工法を採用すること。 躯体閉鎖：サイレントアンカー工法 コンクリート底盤法：フロアスプリッター工法 コンクリート壁盤法：ウォールソー工法、油圧ハンクラッシャー工法</p> <p>防音対策として、以下の工法・対策を採用すること。 作業エリア・集塵機の設置、ダスト捕集用フィルター付き送風機の採用 防水その他ケレン：集塵機給排気ディスクランダー</p> <p>採集性確保対策として、施工エリア内の十分な換気を行うこと。 また工事エリア内排気にあたっては、館内吸気口との十分な距離を確保すること。</p> <p>木工事施工に必要な養生、仮設用電力・給水等の引き込み手配、連絡その他、他人管理の土地、施設等の使用手配は一切請負者で行い、その費用を負担するものとする。また手配に必要な印紙代等は請負者負担とする。</p>																																																																																																																																																																									
<p>24 内装改修工事</p> <p>① 改修範囲</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修</p>	<p>①改修範囲 [6. 1. 3] 既存面仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ・最厚程度とし、既存仕上りに準じた仕上げを行う（○図示） 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ・壁厚より両側60mm程度とし、既存仕上りに準じた仕上げを行う（○図示） 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま・図示</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2] ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ（接着剤ととも） 下地モルタルとも（○図示の範囲・仕上材の撤去範囲全て） 合成樹脂建築床材の除去工法 →機械的除去工法 →目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層構造改修工事による。 改修後の床の清掃範囲・図示 ○ 工事エリア内</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.1によるモルタル塗り（塗り厚2mmを超える場合の処理）※図示</p>	<p>④ 官公庁その他への手続き等</p> <p>⑤ 交通安全管理</p> <p>⑥ 施工中の安全確保</p>	<p>④ 官公庁その他への手続き等 木工事施工に必要な養生、仮設用電力・給水等の引き込み手配、連絡その他、他人管理の土地、施設等の使用手配は一切請負者で行い、その費用を負担するものとする。また手配に必要な印紙代等は請負者負担とする。</p> <p>⑤ 交通安全管理 本業務期間中、当前をはじめ周辺地区は通常営業を行っているため、資機材の搬入や大型機械の設置について、親入経路、時期（時間帯）、搬入や安全施設等の交通安全管理計画を策定し、監督員に承認を得ること。また、必要に応じて、関係者への説明資料の作成や協議に出席すること。なお、午後8時30分から翌朝8時00分まで、海岸通からの出入口が閉鎖されるため留意すること。</p> <p>⑥ 施工中の安全確保 建築基準法や労働安全衛生法、その他関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、現場管理を行うこと。施工現場を含む展示室に入る際、また資機材を持ち込む際には、未コリヤ上、害虫がついていないことを確認した後に入室すること。虫やカビなどの発生する恐れのある材料を持ち込む場合には、受注者により確認処理を行うこと。 博物館より支給される展示物等の中には、複製など貴重な資料も多数含まれるため、保管や運搬および設置にあたっては細心の注意を払うこと。</p>																																																																																																																																																																									
<p>25 建築改修工事</p> <p>① 材料</p> <p>② 下地調整</p> <p>③ 養生止め塗料塗り</p> <p>④ 塗装</p>	<p>①材料 [7. 1. 3] 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※換気対策あり 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）</p> <p>②下地調整 [7. 2. 1～7] 塗替えで下地調整の種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30%・図示 既存養生止め塗料の約含有標準 ・行う（箇所） ・行わない 下地調整</p> <table border="1" data-bbox="281 892 801 1092"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種別</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※ RB種</td> <td>・ RA種・RB種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ RB種</td> <td>RA種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>至給めつき鋼面</td> <td>※ RB種</td> <td>RA種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>至給めつき鋼面（鋼製建築等）</td> <td>※ RB種</td> <td>RC種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル及びプラスター面</td> <td>※ RB種</td> <td>・ RA種・RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂（DP以外）及びALCA系樹脂</td> <td>※ RB種</td> <td>RA種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種・RB種・RC種</td> <td>RA種・RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂（DP）</td> <td>○RB種・RC種</td> <td>RA種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>セッコウボード面及びその他ボード面</td> <td>※ RB種</td> <td>・ RA種・RB種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 養生止め塗料塗りの種別 [7. 3. 2. 3] 養生面</p> <table border="1" data-bbox="281 1102 801 1291"> <thead> <tr> <th rowspan="2">養生面</th> <th rowspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td rowspan="2">EP-G以外</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規塗替え</td> <td>A種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※ B種・A種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規塗替え</td> <td>※ B種・A種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">至給めつき鋼面</td> <td rowspan="2">EP-G以外</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種・B種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建築等</td> <td>※ A種・B種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建築等</td> <td>C種</td> <td>※ A種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 塗装 [7. 4. 2～7. 14. 2] 塗装の種類</p> <table border="1" data-bbox="281 1302 801 1701"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・合成樹脂塗膜 ペイント塗り（SOP） 塗料の種類 ※1種・2種</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種・A種</td> </tr> <tr> <td>至給めつき鋼面（鋼製建築等）</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・クリヤラッカー塗り（DL） ・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE） ・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り（WD）</td> <td></td> <td>※ B種・A種</td> <td>※ B種・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ B種・A種</td> <td>※ B種・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐油性塗料 塗り（OP）</td> <td>鉄鋼面 上塗り等（1）級</td> <td>-</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>至給めつき鋼面 上塗り等（1）級</td> <td>-</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・A-1種・B-1種 ・0-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り（EP-0）</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ○B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） ・合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り（EP-T） ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） ・オイルステイン塗り（OS） 塗料（ ・油性 ・水性） ・木材保護塗料塗り（PP）</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ○B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ B種</td> <td>・ A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ B種・A種</td> <td>※ B種・A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、セッコウボード面、その他ボード面）の塗替えのしめ止め ※改修標準仕様書表7. 9. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書表7. 10. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・高反射率塗料塗り [6]</p> <p>下地調整（改修標準仕様書表7. 2. 2） ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <table border="1" data-bbox="281 1711 801 1900"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="3">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付仕様 (kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JISK675</td> <td>屋外用高反射率塗料</td> <td>2種 ・1種 ・2種 ・3種</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種別	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※ RB種	・ RA種・RB種	-	鉄鋼面	※ RB種	RA種	-	至給めつき鋼面	※ RB種	RA種	-	至給めつき鋼面（鋼製建築等）	※ RB種	RC種	-	モルタル及びプラスター面	※ RB種	・ RA種・RB種	・行う ・行わない	エポキシ樹脂（DP以外）及びALCA系樹脂	※ RB種	RA種	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・ RA種・RB種・RC種	RA種・RB種	・行う ・行わない	エポキシ樹脂（DP）	○RB種・RC種	RA種	・行う ・行わない	セッコウボード面及びその他ボード面	※ RB種	・ RA種・RB種	-	養生面	塗料の種類	塗料の種類		工程の種類		塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	工程の種類	鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	A種	※ C種	・	新規塗替え	A種	※ A種	・	EP-G	塗替え	※ B種・A種	※ C種	・	新規塗替え	※ B種・A種	※ A種	・	至給めつき鋼面	EP-G以外	塗替え	※ A種・B種	※ C種	・	新規鋼製建築等	※ A種・B種	※ A種	・	EP-G	塗替え	※ A種	※ C種	・	新規鋼製建築等	C種	※ A種	・	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂塗膜 ペイント塗り（SOP） 塗料の種類 ※1種・2種	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	鉄鋼面	※ B種	※ B種・A種	至給めつき鋼面（鋼製建築等）	※ A種	※ B種	・クリヤラッカー塗り（DL） ・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE） ・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り（WD）		※ B種・A種	※ B種・A種		-	-		※ B種・A種	※ B種・A種		-	-	・耐油性塗料 塗り（OP）	鉄鋼面 上塗り等（1）級	-	A種	至給めつき鋼面 上塗り等（1）級	-	A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種・B-1種 ・0-1種	・つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り（EP-0）	コンクリート面等	※ B種	・ A種 ○B種	屋内の木部	※ B種	※ A種	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種・B種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） ・合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り（EP-T） ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） ・オイルステイン塗り（OS） 塗料（ ・油性 ・水性） ・木材保護塗料塗り（PP）		※ B種	・ A種 ○B種		※ B種	・ A種・B種		※ B種	・ A種・B種		※ B種・A種	※ B種・A種	工程	塗料その他			塗付仕様 (kg/m ²)	規格番号	規格名称	等級	塗料塗り	JISK675	屋外用高反射率塗料	2種 ・1種 ・2種 ・3種	塗料製造所の仕様による	<p>⑦ 材料</p> <p>⑧ その他</p> <p>⑨ 集約</p>	<p>⑦ 材料 館内に搬入する材料および仮設資材等については、あらかじめ確認を行うなど防虫対策をほどこして博物館資料の保存に影響を与えないよう留意すること。工事施工を行う作業区域およびその周辺においては、IPMにより防虫活動に努めるものとする。 受注者は、監督員の指示や指導があった場合は、協議など必要な防虫対策をとること。</p> <p>⑧ その他 必要に応じて、受注者は地元自治会等に工事説明会を開催し、開催するものとする。 観光シーズン中において、本業務が原因で第3者への影響が懸念される場合、業務を一時中断する可能性がある。業務の中止、再開の時期については、監督員の指示に従うこと。</p> <p>⑨ 集約 ユニバーサルデザイン工事は、「福祉環境のまちづくり条例」の要する基準を守ることを。</p>	
下地面の種別	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																									
	塗替え	新規																																																																																																																																																																										
木部	※ RB種	・ RA種・RB種	-																																																																																																																																																																									
鉄鋼面	※ RB種	RA種	-																																																																																																																																																																									
至給めつき鋼面	※ RB種	RA種	-																																																																																																																																																																									
至給めつき鋼面（鋼製建築等）	※ RB種	RC種	-																																																																																																																																																																									
モルタル及びプラスター面	※ RB種	・ RA種・RB種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																									
エポキシ樹脂（DP以外）及びALCA系樹脂	※ RB種	RA種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																									
押出成形セメント板面	・ RA種・RB種・RC種	RA種・RB種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																									
エポキシ樹脂（DP）	○RB種・RC種	RA種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																									
セッコウボード面及びその他ボード面	※ RB種	・ RA種・RB種	-																																																																																																																																																																									
養生面	塗料の種類	塗料の種類		工程の種類																																																																																																																																																																								
		塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	工程の種類																																																																																																																																																																							
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	A種	※ C種	・																																																																																																																																																																							
		新規塗替え	A種	※ A種	・																																																																																																																																																																							
	EP-G	塗替え	※ B種・A種	※ C種	・																																																																																																																																																																							
		新規塗替え	※ B種・A種	※ A種	・																																																																																																																																																																							
至給めつき鋼面	EP-G以外	塗替え	※ A種・B種	※ C種	・																																																																																																																																																																							
		新規鋼製建築等	※ A種・B種	※ A種	・																																																																																																																																																																							
	EP-G	塗替え	※ A種	※ C種	・																																																																																																																																																																							
		新規鋼製建築等	C種	※ A種	・																																																																																																																																																																							
塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																																																										
		塗替え	新規																																																																																																																																																																									
・合成樹脂塗膜 ペイント塗り（SOP） 塗料の種類 ※1種・2種	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																																																																																																																									
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																																																																																																																									
	鉄鋼面	※ B種	※ B種・A種																																																																																																																																																																									
	至給めつき鋼面（鋼製建築等）	※ A種	※ B種																																																																																																																																																																									
・クリヤラッカー塗り（DL） ・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE） ・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り（WD）		※ B種・A種	※ B種・A種																																																																																																																																																																									
		-	-																																																																																																																																																																									
		※ B種・A種	※ B種・A種																																																																																																																																																																									
		-	-																																																																																																																																																																									
・耐油性塗料 塗り（OP）	鉄鋼面 上塗り等（1）級	-	A種																																																																																																																																																																									
	至給めつき鋼面 上塗り等（1）級	-	A種																																																																																																																																																																									
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種・B-1種 ・0-1種																																																																																																																																																																									
・つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り（EP-0）	コンクリート面等	※ B種	・ A種 ○B種																																																																																																																																																																									
	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																																																																																																																									
	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種・B種																																																																																																																																																																									
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） ・合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り（EP-T） ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） ・オイルステイン塗り（OS） 塗料（ ・油性 ・水性） ・木材保護塗料塗り（PP）		※ B種	・ A種 ○B種																																																																																																																																																																									
		※ B種	・ A種・B種																																																																																																																																																																									
		※ B種	・ A種・B種																																																																																																																																																																									
		※ B種・A種	※ B種・A種																																																																																																																																																																									
工程	塗料その他			塗付仕様 (kg/m ²)																																																																																																																																																																								
	規格番号	規格名称	等級																																																																																																																																																																									
塗料塗り	JISK675	屋外用高反射率塗料	2種 ・1種 ・2種 ・3種	塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																								

滋賀県立琵琶湖博物館ピワコオオナマズ水槽およびコアユ水槽新設展示設計業務 特記仕様書		章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																													
I. 工事概要	1. 工事場所 ※建築概要参照 2. 敷地面積 ※建築概要参照 3. 工事種目 建築物内解体撤去工事	① 各章共通事項	① 適用基準等	・ 建築工事標準詳細編 国土交通省大臣官庁官庁設備部編 (令和4年版) ・ 構内舗装・排水設計基準 国土交通省大臣官庁官庁設備部編 (平成27年版)	3 解体撤去	① 事前措置	○ 行う ・ 行わない (3. 2. 1)	6 石綿含有材料の除去等	石綿粉じん濃度測定方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>名称</th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計測機器</td> <td>位相検波機</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンプレンプライムフィルタの直径</td> <td></td> <td colspan="2">25 mm</td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引速度</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトノーリアセチン法又は、シュウ酸ジェリル法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測条件</td> <td>200木又は視野数50視野</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測石綿</td> <td>直径3mm未満、長さ5mm以上、長さ直径比3:1以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定限界</td> <td>50 l/l</td> <td>0.5 l/l</td> <td>0.3 l/l</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	名称	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5	計測機器	位相検波機				マンプレンプライムフィルタの直径		25 mm		47 mm	試料の吸引速度	1 l/min	5 l/min	10 l/min		試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min		試料の透明化	アセトノーリアセチン法又は、シュウ酸ジェリル法				計測条件	200木又は視野数50視野				計測石綿	直径3mm未満、長さ5mm以上、長さ直径比3:1以上				測定限界	50 l/l	0.5 l/l	0.3 l/l	
			項目	名称		測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8				測定 5																																												
計測機器	位相検波機																																																						
マンプレンプライムフィルタの直径		25 mm		47 mm																																																			
試料の吸引速度	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																				
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																				
試料の透明化	アセトノーリアセチン法又は、シュウ酸ジェリル法																																																						
計測条件	200木又は視野数50視野																																																						
計測石綿	直径3mm未満、長さ5mm以上、長さ直径比3:1以上																																																						
測定限界	50 l/l	0.5 l/l	0.3 l/l																																																				
② 工事実施情報の登録	※ 行う ・ 行わない (1. 1. 4)	② 2. 杭の解体	杭の解体 ・ 行う ・ 行わない	② 2. 杭の解体	杭の解体 ・ 行う ・ 行わない	② 2. 石綿含有収付材の処理	石綿含有収付材の処理	② 2. 石綿含有収付材の処理	石綿含有収付材の処理																																														
③ 電気保安技術者等	・ 適用する ・ 適用しない (1. 3. 3)	③ さく、照明設備等の付属物	さく、照明設備等の付属物の解体 ・ 引抜き ・ 破砕による解体	③ さく、照明設備等の付属物	さく、照明設備等の付属物の解体 ・ 引抜き ・ 破砕による解体	③ 3. 石綿含有収付材の処理	石綿含有収付材の処理	③ 3. 石綿含有収付材の処理	石綿含有収付材の処理																																														
④ 施工条件	工期中 ・ 軌道並行工事 ・ 建物全壊入 (軌道者無し) 工事 (1. 3. 5) ○ その他 (工事エリアを除き、特設物は工事中も継続して開通)	④ 4. 樹木等	樹木の伐採撤去及び移植 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	④ 4. 樹木等	樹木の伐採撤去及び移植 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	④ 4. 石綿含有成形成等の除去	石綿含有成形成等の除去	④ 4. 石綿含有成形成等の除去	石綿含有成形成等の除去																																														
⑤ 養生材の処理	特別管理産業廃棄物 養生材の種類 ・ 廃石綿等 ・ PCB含有物 ・ PCB含有シーリング材 処理方法 ・ 現場において再利用を固めるもの () (1. 3. 10) ・ 引渡しを要するもの () (1. 3. 10) ・ 再資源化を固めるもの ※工事補足説明事項による (1. 3. 10) ・ その他養生材 ※工事補足説明事項による (1. 3. 10) ・ 石綿含有成形成 ※工事補足説明事項による (1. 3. 10)	⑤ 5. 地下埋設物・埋設配管	雨水ます、雨水配管 地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	⑤ 5. 地下埋設物・埋設配管	雨水ます、雨水配管 地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	⑤ 5. 特別管理産業廃棄物の処分等	特別管理産業廃棄物の処分等	⑤ 5. 特別管理産業廃棄物の処分等	特別管理産業廃棄物の処分等																																														
⑥ 施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 調査方法 ※ 図示 (1. 4. 2)	⑥ 6. 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	⑥ 6. 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 ・ 行う ・ 範囲 ※ 図示	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														
⑦ 技能士	※ 適用しない ・ 適用する (改修 1. 6. 2)	⑦ 7. 技能士	※ 適用しない ・ 適用する (改修 1. 6. 2)	⑦ 7. 技能士	※ 適用しない ・ 適用する (改修 1. 6. 2)	⑦ 7. 特殊な建設物の回収及び処分	特殊な建設物の回収及び処分	⑦ 7. 特殊な建設物の回収及び処分	特殊な建設物の回収及び処分																																														
⑧ 地中埋設物等	解体共通仕様書によるほか、下記による。 施工に、当該工事に係る地中埋設物等について事前調査を行う。既設埋設物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探検方法等を監督職員と協議する。	⑧ 8. 地中埋設物等	解体共通仕様書によるほか、下記による。 施工に、当該工事に係る地中埋設物等について事前調査を行う。既設埋設物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探検方法等を監督職員と協議する。	⑧ 8. 地中埋設物等	解体共通仕様書によるほか、下記による。 施工に、当該工事に係る地中埋設物等について事前調査を行う。既設埋設物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探検方法等を監督職員と協議する。	⑧ 8. 共通事項	共通事項	⑧ 8. 共通事項	共通事項																																														
II. 解体工事仕様	1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁設備部編の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を採用する。	② 足場等	② 足場等	「手すり先行工法」に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、両ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 外部足場 ・ 設置する(設置範囲・工事に必要な範囲) ・ 設置しない ・ 内部足場 ○ 設置する(※ 脚立、足場板等) ・ 設置しない ・ 設置する(設置範囲・工事に必要な範囲) ・ 設置しない	4 特別管理産業廃棄物の処理	① 養生材の処理等	・ 現場において再利用を固めるもの () (4. 4. 1) 再生資源化を固めるもの () (4. 4. 1) =※工事補足説明事項による=	7 特殊な建設物の回収及び処分	分析調査	分析調査																																													
			③ 既存部分の養生	・ 材料、除去材等の選定方法 (改修 2. 2. 1) 種別 (A種・B種・C種・D種・E種) C種: 利用可能なトレー() D種: 利用可能な箱 ()		② 2. 産業廃棄物区域設定制度	・ 適用する ○ 適用しない (4. 4. 2)				① 共通事項	共通事項																																											
④ 仮設圍仕切り	1) 仮設圍仕切り及び仮設圍の設置箇所 ○ 図示 (改修 2. 3. 2) 2) 仮設圍仕切りの種別と材質等 (改修 2. 3. 1)	④ 仮設圍仕切り	1) 仮設圍仕切り及び仮設圍の設置箇所 ○ 図示 (改修 2. 3. 2) 2) 仮設圍仕切りの種別と材質等 (改修 2. 3. 1)	④ 仮設圍仕切り	1) 仮設圍仕切り及び仮設圍の設置箇所 ○ 図示 (改修 2. 3. 2) 2) 仮設圍仕切りの種別と材質等 (改修 2. 3. 1)	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														
⑤ 監督職員事務所	・ 設ける ・ 設けない ・ 解体工事特記仕様書による (改修 2. 4. 1)	⑤ 監督職員事務所	・ 設ける ・ 設けない ・ 解体工事特記仕様書による (改修 2. 4. 1)	⑤ 監督職員事務所	・ 設ける ・ 設けない ・ 解体工事特記仕様書による (改修 2. 4. 1)	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														
⑥ 工用水	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑥ 工用水	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑥ 工用水	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														
⑦ 工用電力	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑦ 工用電力	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑦ 工用電力	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														
⑧ 仮囲い等	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑧ 仮囲い等	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑧ 仮囲い等	・ 設ける (種数及び設置は監督職員の指示による) ・ 設けない	⑥ 6. 共通事項	共通事項	⑥ 6. 共通事項	共通事項																																														

工事区分表

項目	工事区分					備考	項目	工事区分					備考	項目	工事区分					備考
	建築	電気	機械	展示	別途			建築	電気	機械	展示	別途			建築	電気	機械	展示	別途	
仮設工事	仮囲い・足場等の架け直し維持補修	○					展示造形	展示水槽内擬岩製作・取付				○				砂、擬草等含む				
	監督員事務所の架け直し備品維持補修	○						水槽内の既存敷き砂、敷き砂利、石等の移動				○								
	仮設建物・機械器具等	○	○	○	○			アンカー及びアンカー部防水処理	○											
	工所用電力・電話・用水・ガス使用料	○	○	○	○			展示造形設置後の水張試験				○								
	完成引渡しまでの試運転に要する電源・給水・給油等補給	○	○	○	○			擬岩アーク抜き				○								
	壁・床等貫通部穴埋め及び補修	○	○	○	○			擬岩設置後の水槽内清掃				○								
スリブ等	天井・壁の照明器具・制気口類の切込	○	※	※	※	※は撤出しを行う	展示照明	水槽照明			○									
	同上開口補強	○						水槽照明用架台・ブラケット	※					※建築図にあるもの						
	既設躯体のコア抜き	※	○	○		※建築図にあるもの		展示装置用照明			○									
点検口	床・壁・天井の点検口	○					同上一次側電源			○										
							同上二次側配管・配線			○										
備品等	カーテンレール	○					映像音響	展示用映像設備・展示用音響設備			○				既存モニターの一次撤去および撤去後までコワイ取付まで					
	カーテン	※				※建築図にあるもの		同上一次側電源			○									
	ベンチ・椅子・ソファ・テーブル				※	○		※展示図にあるもの	同上二次側配管・配線			○								
	設備用吊りボルト及びビーンサート		○	○				アンカー含む	本工事外の新設の浅瀬モニター用空配管			○								
電気	照明、非常照明、誘導灯設備		○				展示サイングラフィック	サイン・グラフィック				○								
	コンセント設備		○					既存サイン・既存グラフィック撤去・改修			○									
	放送設備		○					サイン1次側電気配管・配線			○			撤去まで						
	自動火災報知設備		○																	
空調	天井材 撤去・新設	○					躯体以外の開口・貫通	工場製作間仕切壁の開口・取付枠・補強			○									
	水槽アクリル面結露防止用吹出口・チャンパー	○	※			※ダクト接続は機械		現場製作間仕切壁の開口・取付枠	※	○	○	○		※建築図にあるもの						
								同上補強			○									
								間仕切壁開口部の穴うめ・補修	※	○	○	○		※建築図にあるもの						
飼育設備	飼育ろ過配管		○			区分は展示による	躯体以外の開口・貫通	天井付各種器具の開口・取付枠・補強			○									
	同上総合調整		○					壁・床の直付各種器具取付枠・補強	※	○	○	○		※建築図にあるもの						
RC水槽	ろ過槽の熟成運転に必要な淡水				○		その他													
	試運転時の試験魚				○															
	天井材 撤去・新設	○																		
	擬岩撤去	○																		
	水槽内生物の移動（工事前後）				○															
	RC躯体、及び防水	○																		
	同上防水・点検口・タラップ・釜場一式	○																		
	同上アクリル、ガラスの製作・取付・シール	○																		
	同上釜場、オーバーフロー	○						ろ過砂・集水管等												
	同上ろ過設備一式			○																
	同上冷温水配管			○																
	RC水槽水張り試験、水抜き、試験後の水槽内清掃	○																		
	水槽廻り枠	○																		
	RC水槽塗装（グラデーション）																			
水槽内擬岩取合い部配管			○																	
メンテナンスデッキ（木デッキ）	○																			
躯体貫通配管部の養生・断熱	○																			
水槽内仕切り板				○																
同上 上部ネット				○																

建築概要		建物概要		棟別概要	
敷地概要	地名地番	滋賀県草津市下町町島丸地先		主要用途	博物館
	敷地面積	42,433.91㎡		工事種別	・新築・増築・改築・移転 ○改修
	用途地域	・第1種住居専用 ・第2種住居専用 ・住居・近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ○市街化調整地域 ・特別用途()		建築面積	新設(増設) ---㎡ 既設 12,355.221㎡ 合計 12,355.221㎡
	防火地域	・防火 ・準防火 ○指定なし ・法22条		延べ面積	新設(増設) ---㎡ (. m) 既設 23,987.066㎡ (. m) 合計 23,987.066㎡ (. m)
	その他地域・地区	・高度地区(第1種) ○風致地区(第1種) ・高度利用地区() ・都市計画公園 ・駐車場整備地区 ・砂防指定地区 ・宅地造成工事規制区域		建ぺい率	
	基準建ぺい率(%)	・30 ・40 ・50 ・60 ・70 ・80		容積率	
	基準容積率(%)	・50 ・60 ・80 ・100 ・150 ・200 ・300 ・400 ・500 ・600 ・700 ・800 ・900 ・1000		解体撤去面積	建築面積 . m ² 延べ面積 . m ²
	道路・壁面後退等	・主前面道路(巾18.71m) ・その他前面道路(巾8.00m) ・都市計画道路(・有 m ○無) ・壁面後退(・有 m ○無)			
	その他	○琵琶湖景観形成特別地区 ○総合保養地域整備法重点整備地区			
	附近見取図	1:25000(A1)/1:50000(A3)			



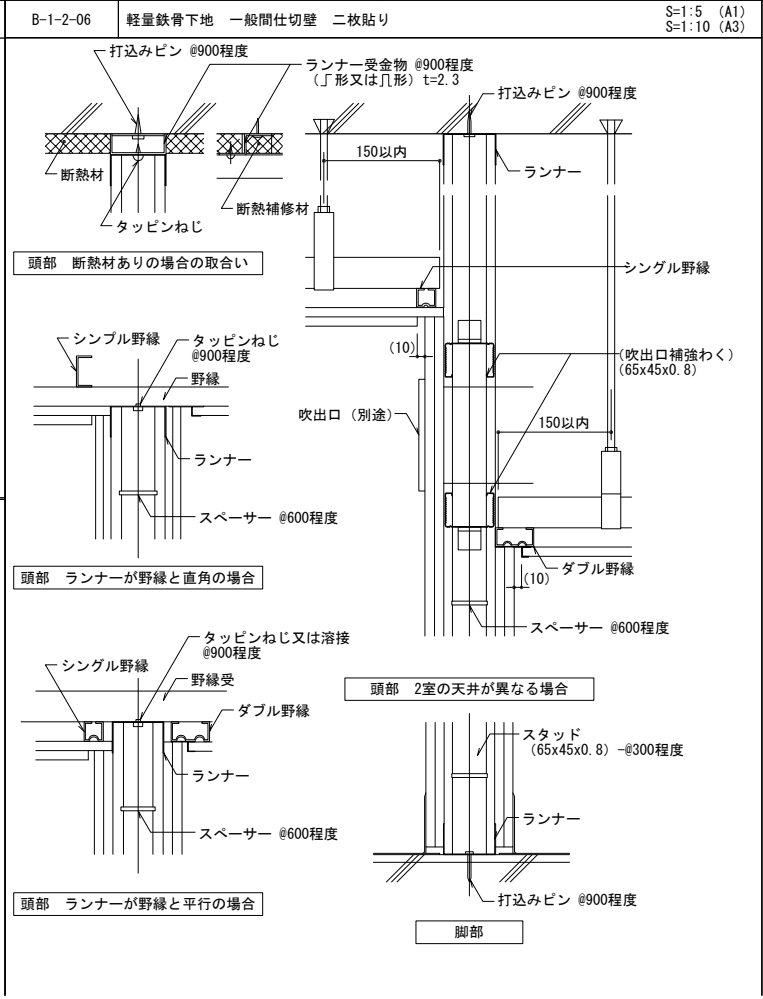
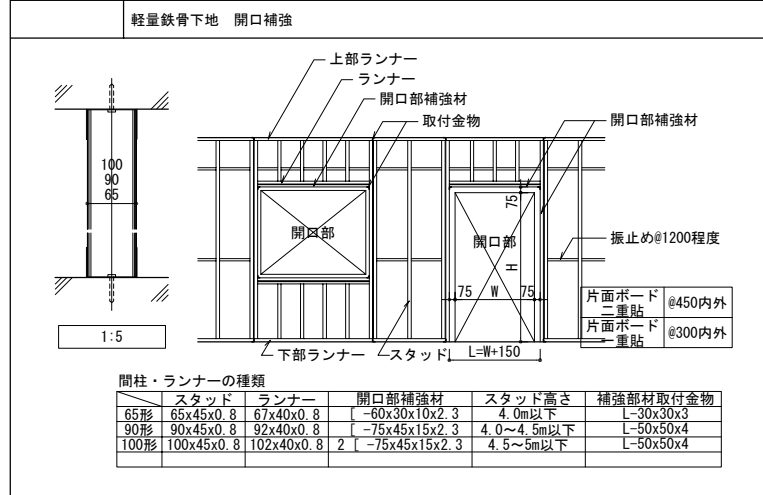
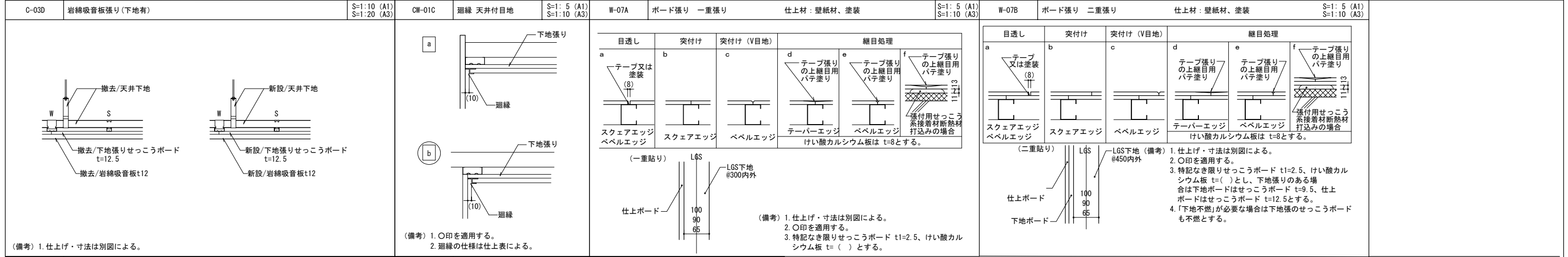
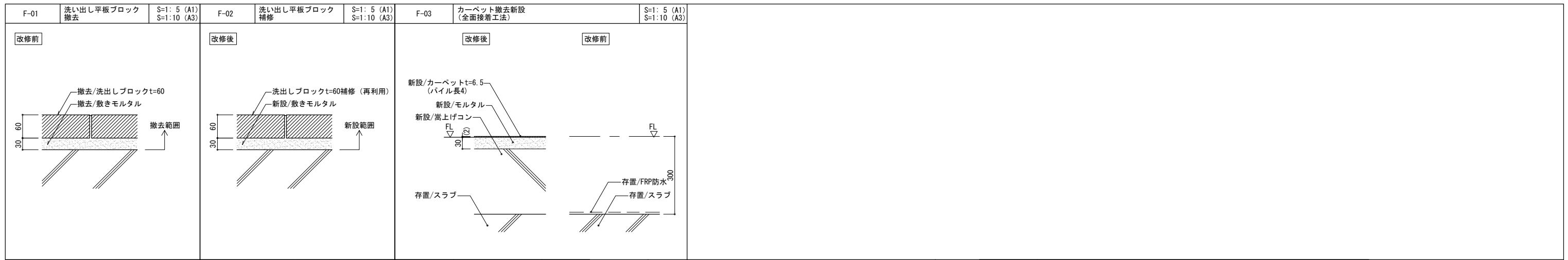
- ### 内部仕上表凡例
- 内装制限 ※壁・柱・梁および天井に適用する
 - 不燃1: 仕上のみ不燃材料
 - 不燃2: 仕上・下地とも不燃材料
 - 準不燃1: 仕上のみ準不燃材料
 - 準不燃2: 仕上・下地とも準不燃材料
 - 準不燃3: 天井仕上を準不燃・壁仕上は不燃
 - 難燃: 仕上のみ難燃材料
 - 塗装仕上の略号
 - SOP: 合成樹脂調合ペイント塗り
 - CL: クリアラッカー塗り
 - DP: 耐水性塗料塗り
 - EP: 合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 - EP-G: つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 - EP-T: 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り
 - FU: フッ素樹脂塗料塗り
 - NAD: アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
 - OS: オイルステイン塗り
 - UC: ウレタン樹脂ニス塗り
 - WP: 木材保護塗料塗り
 - 下地・仕上略号
 - C: コンクリート
 - CB: コンクリートブロック
 - LGS: 軽量鉄骨
 - GB-R: せっこうボード(不燃・準不燃)
 - GB-H: 硬質せっこうボード(不燃)
 - FK: ケイ酸カルシウム板(不燃)
 - TC: タイルカーペット
 - GW-B: グラスウール(打): 打放し (金): 金コテ押え (化): 化粧打放し
 - 図線略号
 - A: アルミ製廻縁 CS: カテンレール(シングル)
 - V: 塩ビ製廻縁 C-BOX: カテンレールボックス
 - 法定防火材料認定番号
 - 【不燃材料】
 - 繊維強化セメント板 (スレートボード・フレキシブル・ハイライト) NM-8576
 - けい酸カルシウム板 無石棉 15mm以上 NM-8578
 - 化粧繊維強化セメント板(化粧FK)10mm NM-8577
 - せっこうボード t12.5, 15mm NM-8619
 - 不燃複層せっこうボード t9, 5mm NM-8613
 - 化粧せっこうボード t12.5mm NM-8614
 - 強化せっこうボード t12.5, 15, 18, 21, 25mm NM-8615
 - ロックウール化粧吸音板(岩綿吸音板) NM-8599
 - 吹付ロックウール t10mm以上 NM-8601
 - グラスウール保温板 NM-8605
 - グラスウール化粧保温板 NM-8605
 - 押出成型セメントパネル NM-9975
 - 塗料塗装/不燃材料・EP, EP-G, VE, SOP, PE, MP, MAD(下地・法定不燃材) NM-8585
 - 硬質せっこうボード t9, 5mm NM-9645
 - 繊維強化せっこうボード t6, 0mm NM-2967
 - 不燃断熱材 NM-0916
 - 【準不燃材料】
 - せっこうボード t9, 5mm QM-9828
 - 化粧せっこうボード t9, 5mm QM-9824
 - シーリングせっこうボード t9, 5mm QM-9826
 - 木片セメント板 QM-9705
 - 木毛セメント板 QM-9701

内部仕上表(改修後) 〇: 改修を行わない範囲を示す ※天井高はFLから、床仕上高・スラブ高は1FLからとする

内部仕上表(改修前)		改修を行わない範囲を示す		※天井高はFLから、床仕上高・スラブ高は1FLからとする							
階	室名	天井高	床仕上高	床	上木	壁	天井	廻縁	カーテン・ボックス・ビクターレール	内装制限	備考
1階	"琵琶湖の主" オオナマズ水槽	3200, 2400	スラブ高	洗い出し平板ブロック(一部撤去)	縦石ブロック	モルタル 柱側:FGボード t=6×3(一部撤去)	上木				
		-2500		水槽床 変換防水		LGS					
	-2590		Cの上敷モルタル		LGS+GB-R t=12.5						
	-		FRP防水								
	-1990		C(直)増打 t=20以上								
	-2020		直天								
"琵琶湖の主" (メンテナンスレール)	"沖合の冷たい水にすむ魚" コアユ水槽	+500		直天		直天					
		-		直天							
"沖合の冷たい水にすむ魚" コアユ水槽	"沖合の冷たい水にすむ魚" (メンテナンスレール)	3000		洗い出し平板ブロック(一部撤去)	縦石ブロック	モルタル 柱側:FGボード t=6×3(一部撤去)	上木				
		-1900		水槽床 変換防水		LGS					
-1990		Cの上敷モルタル		LGS+GB-R t=12.5							
-		FRP防水									
-1450		C(直)増打 t=20以上									
-2100		直天									
+700		直天		木製歩廊(一部撤去)		FRP防水					
-											

階	室名	天井高	床仕上高	床	上木	壁	天井	廻縁	カーテン・ボックス・ビクターレール	内装制限	備考
1階	"琵琶湖の主" オオナマズ水槽	3200, 2400	スラブ高	洗い出し平板ブロック(一部再利用)	縦石ブロック	モルタル 柱側:FGボード t=6×3(一部新設)	上木				
		-2500		TC		LGS					
-2590		Cの上敷モルタル(一部新設)		LGS+GB-R t=12.5							
-		FRP防水									
-1990		C(直)増打 t=20以上									
-2020		直天									
"琵琶湖の主" (メンテナンスレール)	"沖合の冷たい水にすむ魚" コアユ水槽	+500		直天		直天					
		-		直天							
"沖合の冷たい水にすむ魚" コアユ水槽	"沖合の冷たい水にすむ魚" (メンテナンスレール)	3000		洗い出し平板ブロック(一部撤去)	縦石ブロック	モルタル 柱側:FGボード t=6×3(一部新設)	上木				
		-1900		水槽床 変換防水		LGS					
-1990		Cの上敷モルタル(一部新設)		LGS+GB-R t=12.5							
-		FRP防水									
-1450		C(直)増打 t=20以上									
-2100		直天									
+700		直天		木製歩廊(一部新設)		FRP防水					
-											

■特記事項(すべて同等品以上とする)
 ・塗装A: 水系アクリルシリコン樹脂塗装
 ・洗い出し平板ブロック: 400×400×t60
 ・FRP防水: ポリルフ YPL-2工法(不飽和ポリエステルトップ プール用高耐水性仕上) (双和化学)
 ・断熱材A: 発泡ウレタンフォーム t=30
 ・断熱材B: 押出発泡ポリスチレン t=30(型枠一体・残置)
 ・遮光カーテン: ミュンヘン(サンゲツ)
 ・タイルカーペット: インターフェース(川島セルコン)
 ・塗膜防水(既存): 水系エポキシ樹脂系ガラスクロス1層張り
 ・シリコンシーリング: マリンシーラントEX(アミノキシタイプ)(信越化学工業)
 ・トリカルネット: N-34(タキロンシアイ)
 ・釜場: モルタル+FRP防水
 ※壁面の塗装については一部塗分けあり。現場で確認すること。



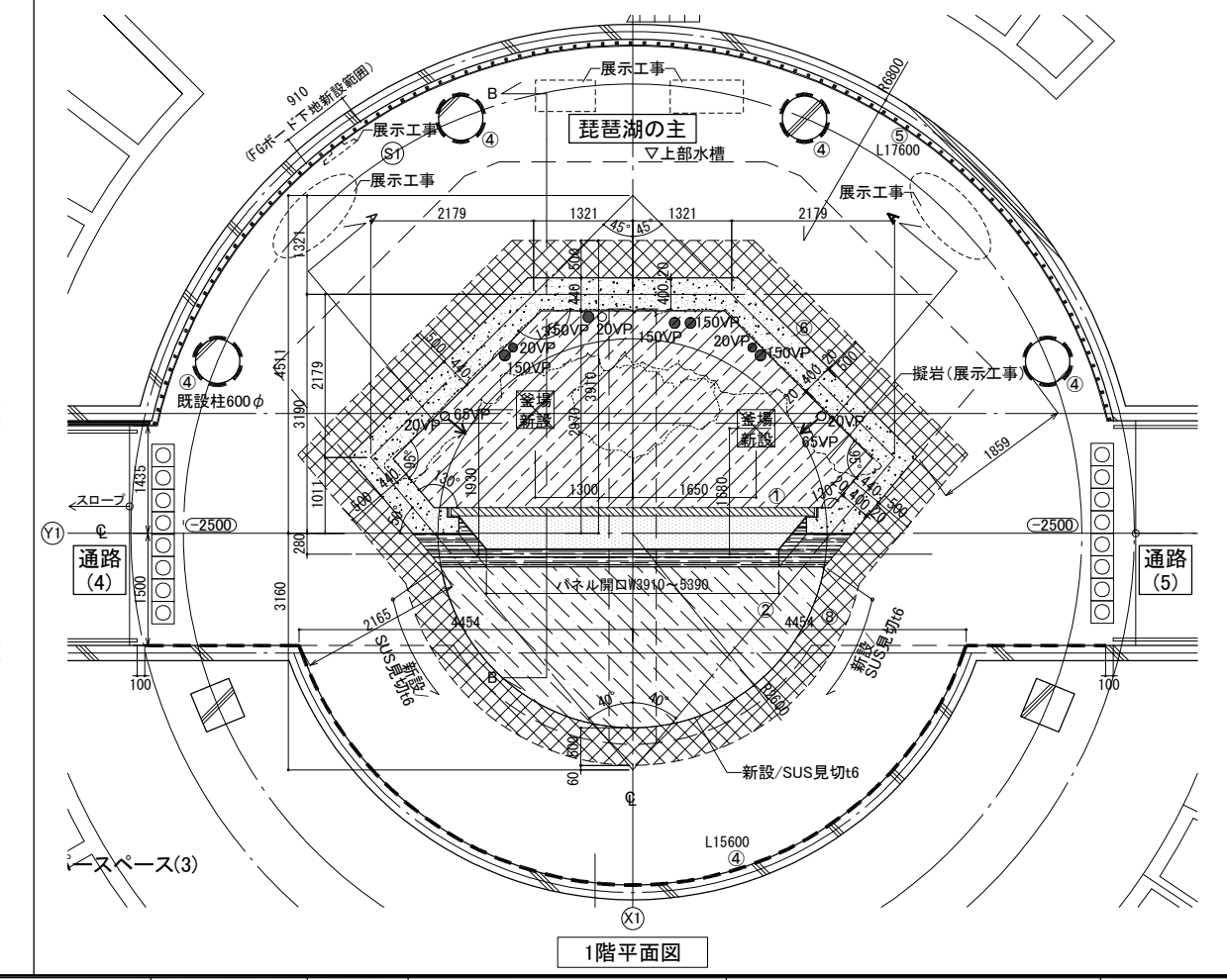
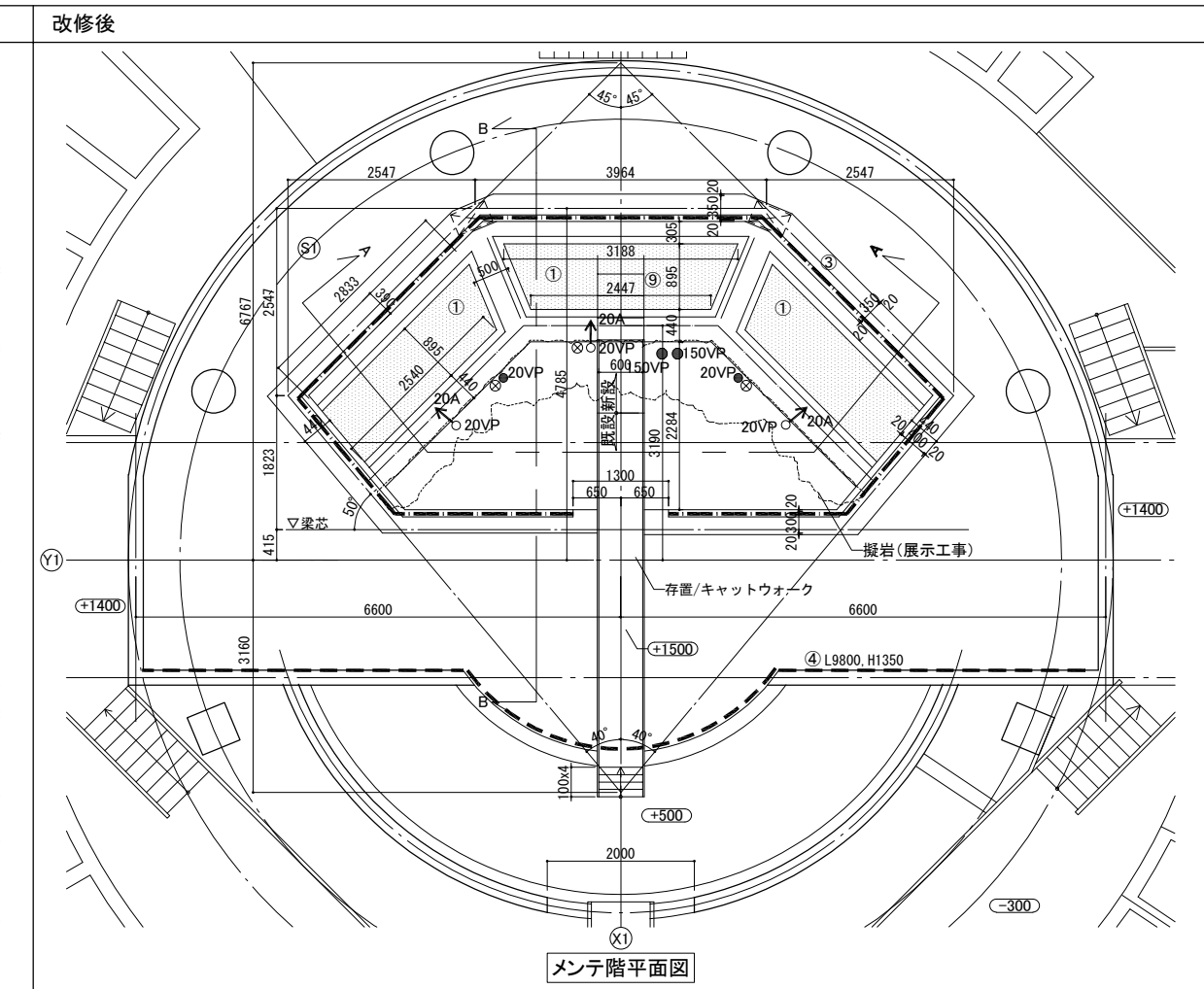
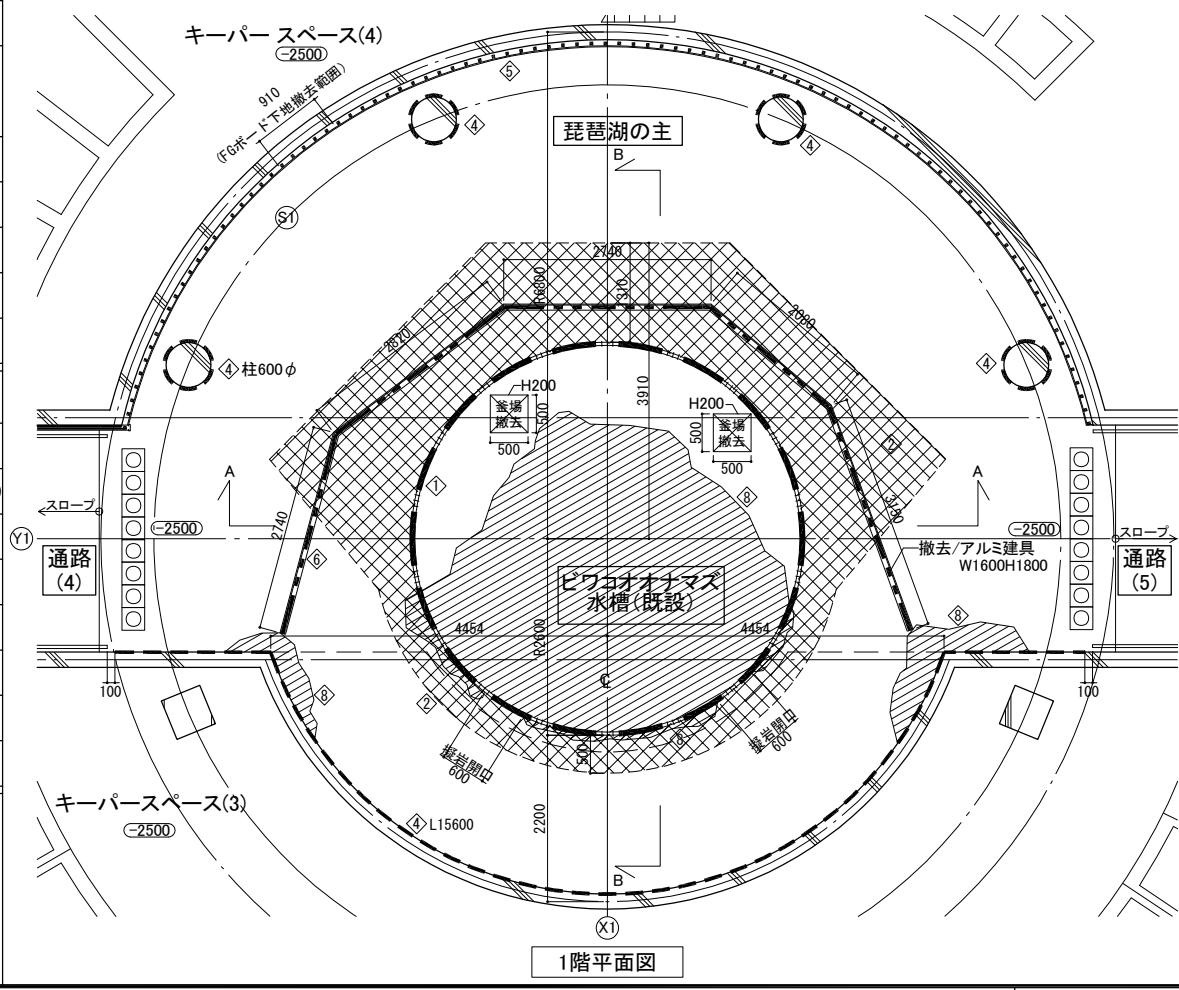
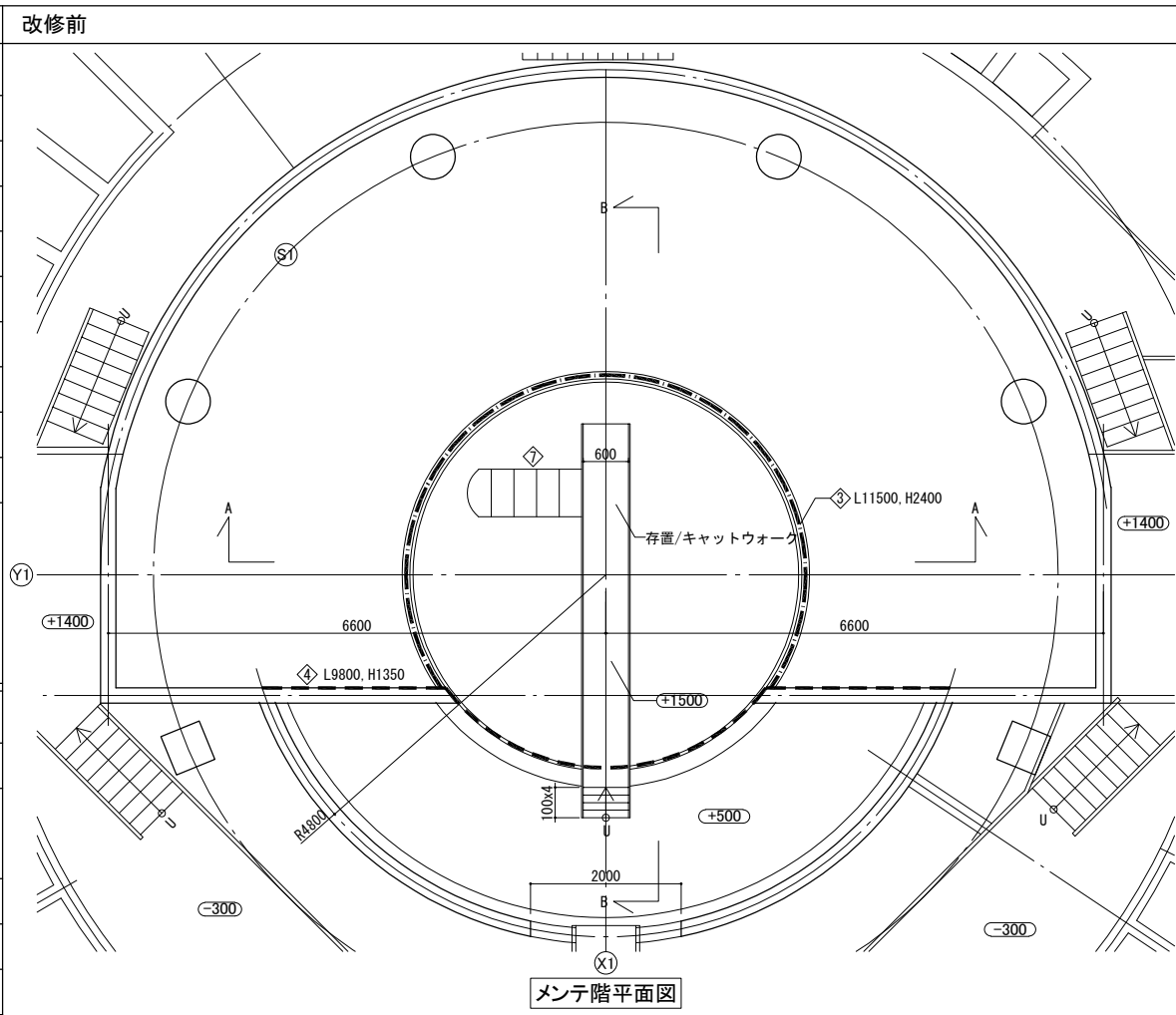
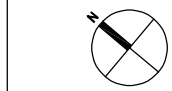
■撤去リスト			
No.	内容	仕上材	凡例
①	水槽	アクリルt40,H3900(30%程度破損) +巾木 SUS304 t1.6xh90 HL	-----
②	観覧通路床材	敷モルタル+洗い出しブロック (一部再利用)	XXXXXX
③	水槽壁仕上	LGS65+Fk t8曲げ加工FU	-----
④	観覧通路壁仕上1	塗装A(RC下地)	-----
⑤	観覧通路壁仕上2	塗装A(FGボード下地) 一部FGボード下地共に撤去
⑥	仮設壁	LGS65+GB-R t12.5	-----
⑦	タラップ	取り外し	
⑧	擬岩		XXXXXX

備考
・水槽内外の擬岩、擬岩下地を撤去すること
(擬岩下地:FRP溝型75x35t5、全ねじM10 SUS304#900
ケミカルアンカー-SUS製M12@1000)

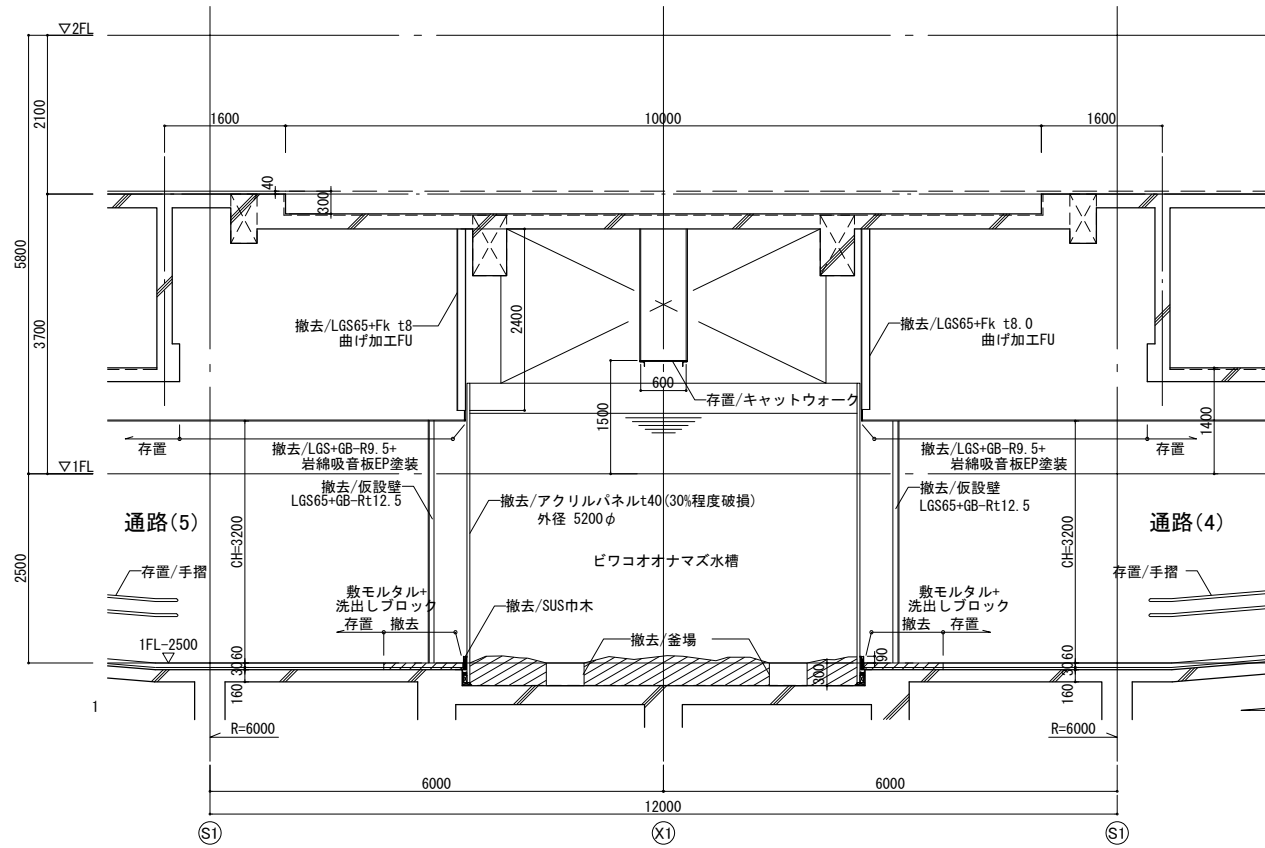
■新設リスト			
No.	内容	仕上材	凡例
①	水槽	アクリル t105,H2270 アクリル t50,H1095 (詳細は水槽詳細図による)	切断面 見掛け
②	観覧通路床材	嵩上げコンの上TC	XXXXXX
③	水槽壁仕上	LGS65+Fk t8	-----
④	観覧通路壁仕上1	EP塗装(RC下地)	-----
⑤	観覧通路壁仕上2	EP塗装(FGボード下地) 一部FGボード下地共に新設
⑥	RC壁	RC壁+EP塗装(観覧通路側) +FRP防水(水槽側) +水切SUS316HL(水槽側天端全周)	切断面 見掛け
⑦	FRP防水-床	RCスラブ+FRP防水	XXXXXX
⑧	観覧通路床材	敷モルタル+洗い出しブロック (既存ブロック再利用)	XXXXXX
⑨	タラップ	一部切断加工の後、再取付け	

凡例	
レベル	床仕上高さ(1FLより)
●150VP	ろ過配管・オーバーフロー管 150VP(擬岩内・設備工事)
●20VP	エア配管 20VP(擬岩内・設備工事)
○20VP	ろ過配管 20VP(擬岩内・設備工事)
→65VP	ろ過配管 65VP(擬岩内・設備工事)
→20A	ボールバルブ 20A(擬岩内・設備工事)
※	排水目皿(擬岩上部に設置・設備工事)

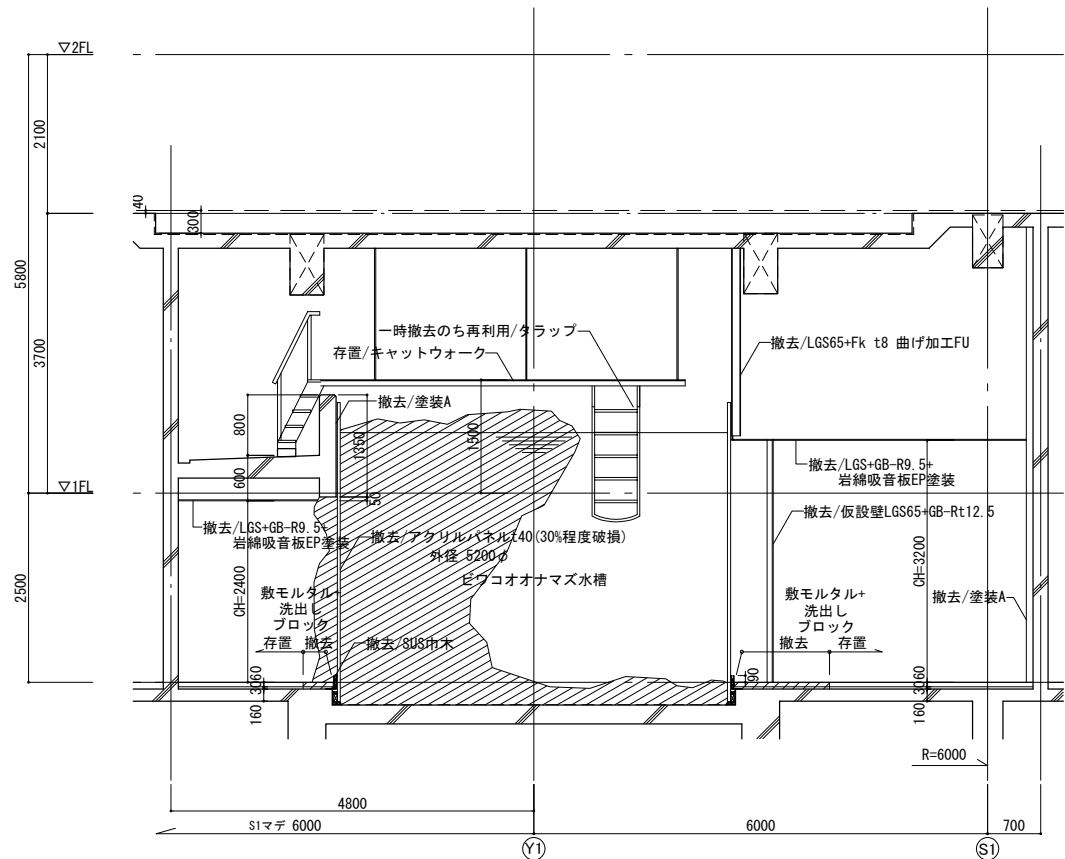
※設備工事の各配管の詳細については機械設備図に示す。



改修前



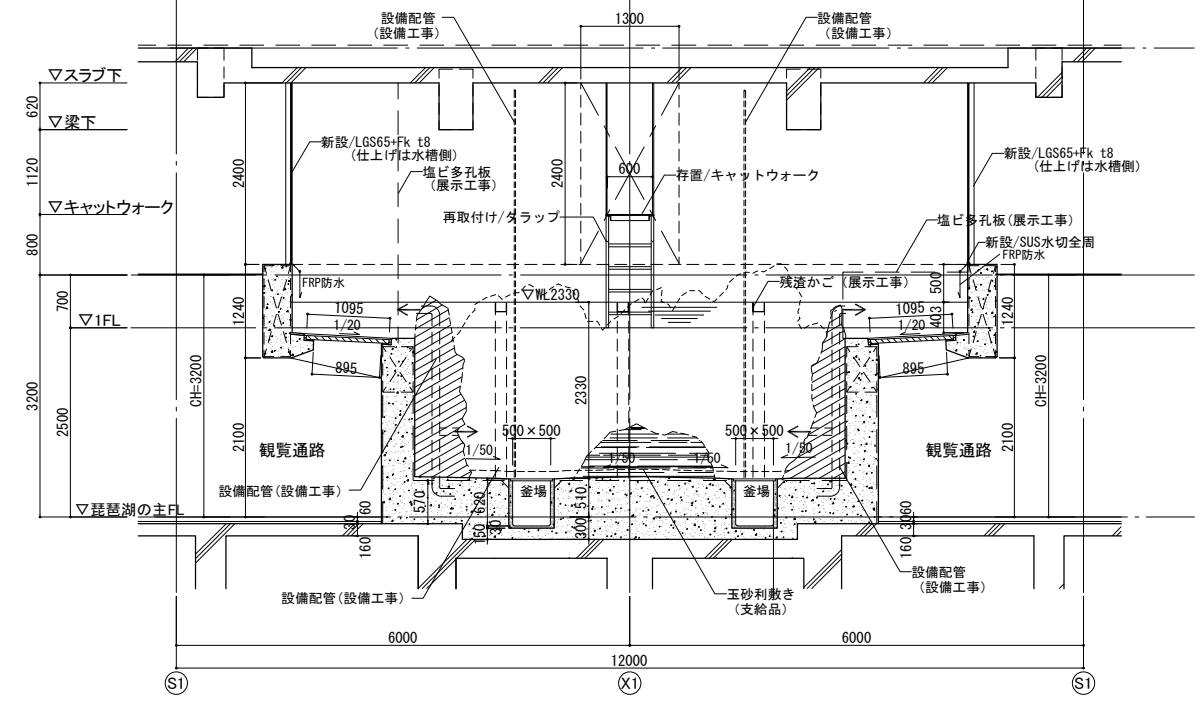
A-A断面詳細図



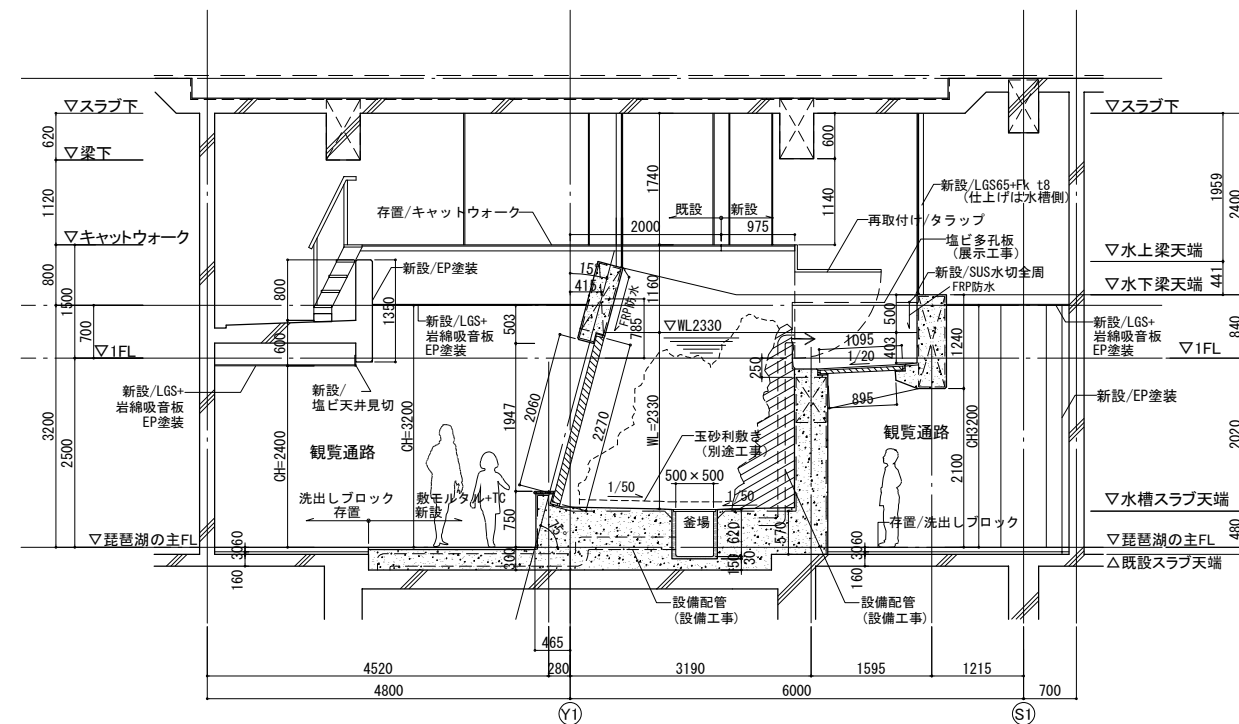
B-B断面詳細図

... 擬岩撤去

改修後



A-A断面詳細図



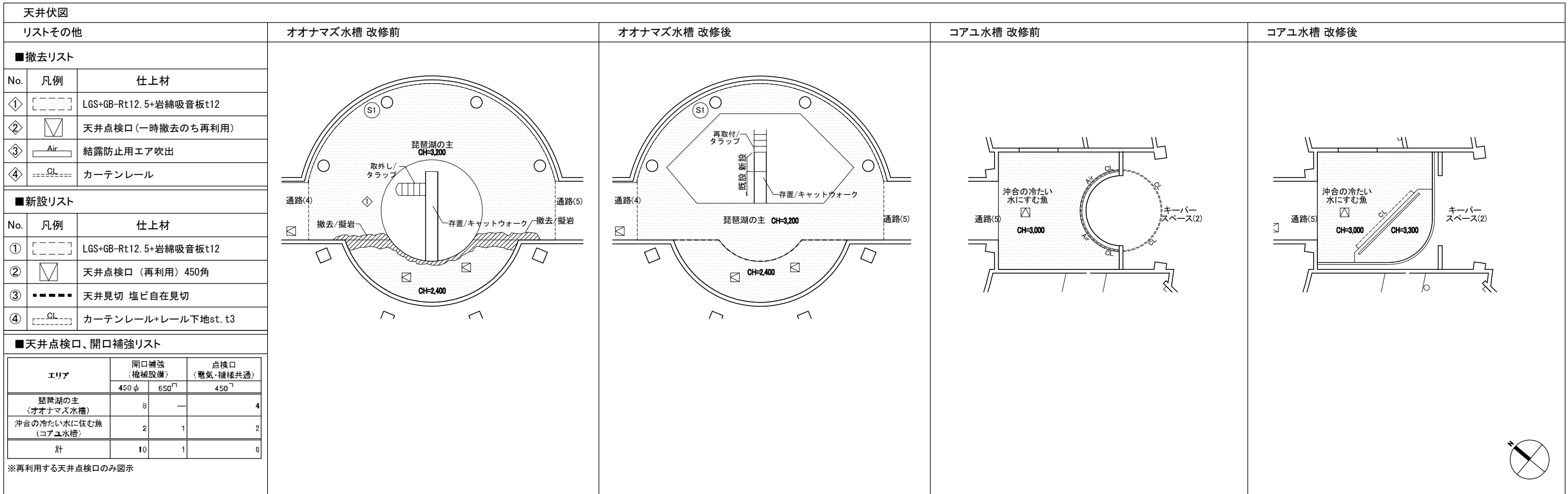
B-B断面詳細図

... 新設RC壁
... 擬岩(展示工事)

竣工年月日	
監理者印	
施工者印	

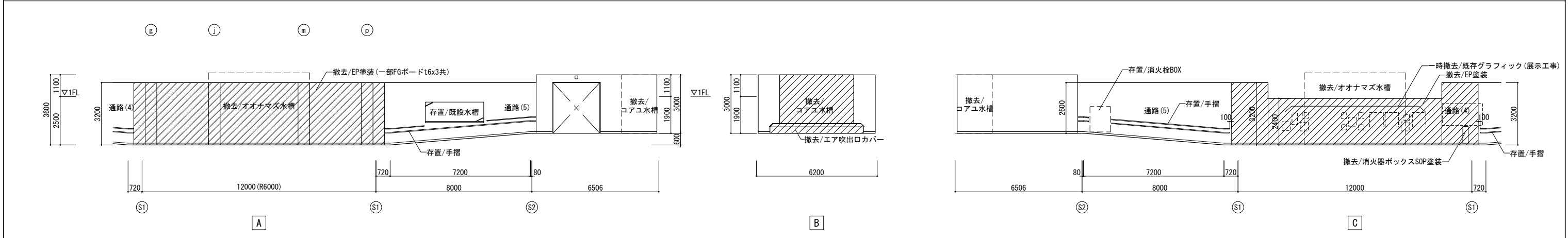
株式会社 大建設
 一級建築士事務所 大阪府知事登録 第(シ)404号

PROJECT TITLE	滋賀県立琵琶湖博物館ピッコオオナマズ水槽およびピッコオオナマズ水槽新設展示設計業務	意匠
DATE	0-2024-006	
CHECK		
DWG TITLE	ピッコオオナマズ水槽改修 断面詳細図	NO. NO
SCALE	1:50 (A1) 1:100 (A3)	A-016

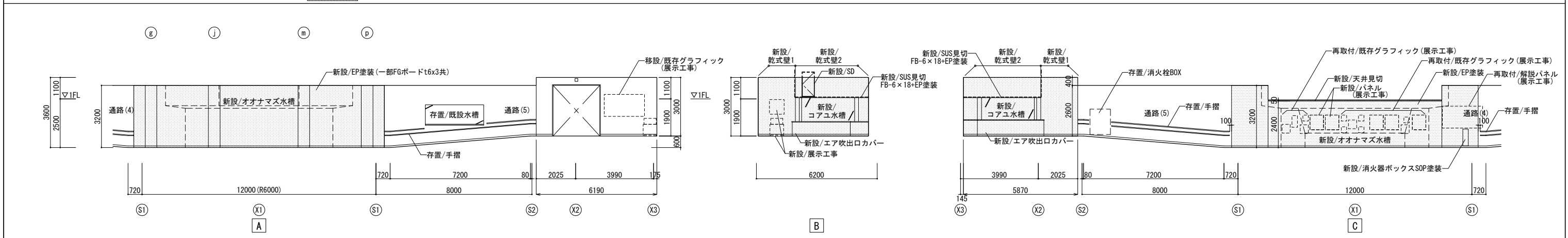


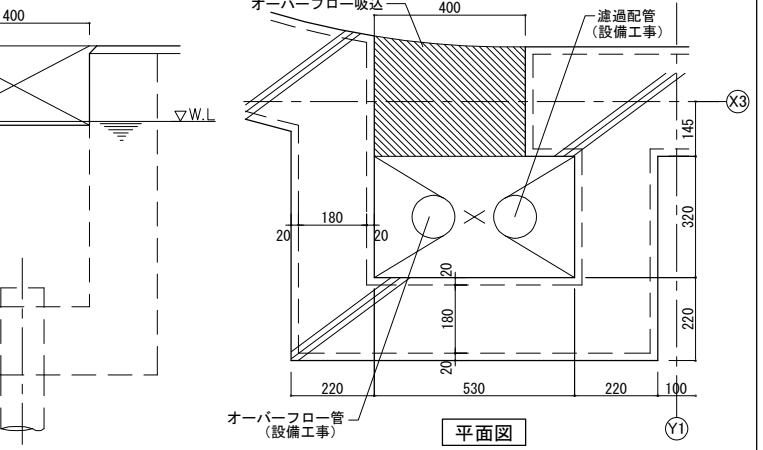
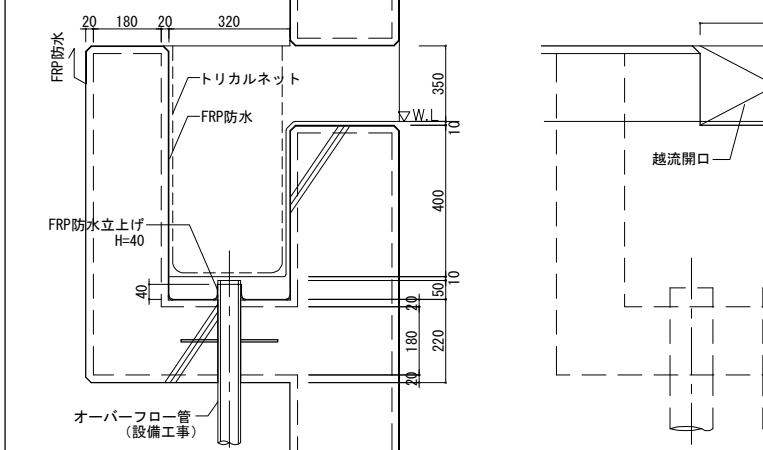
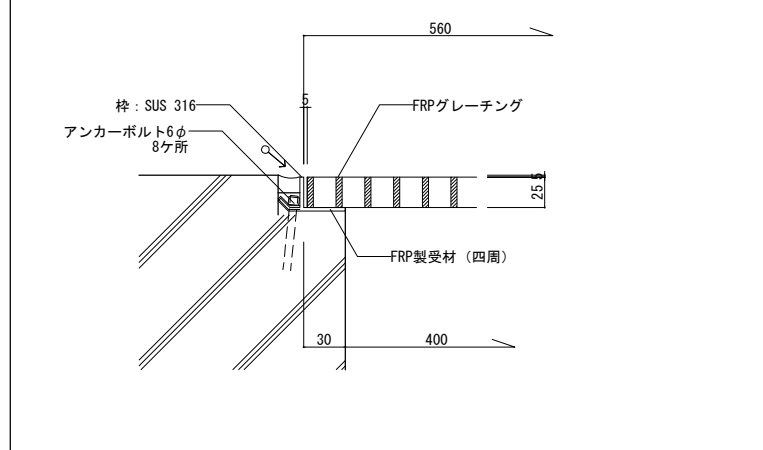
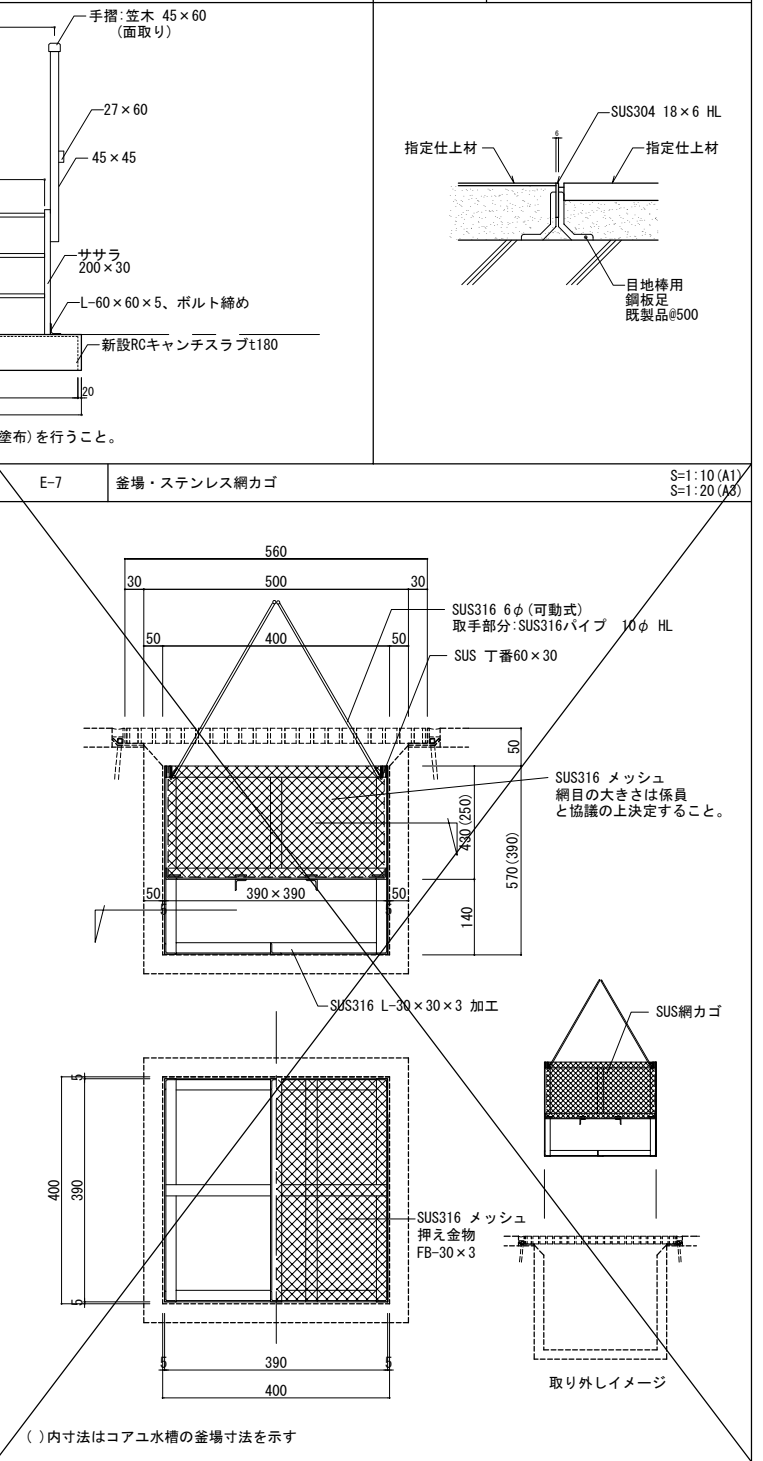
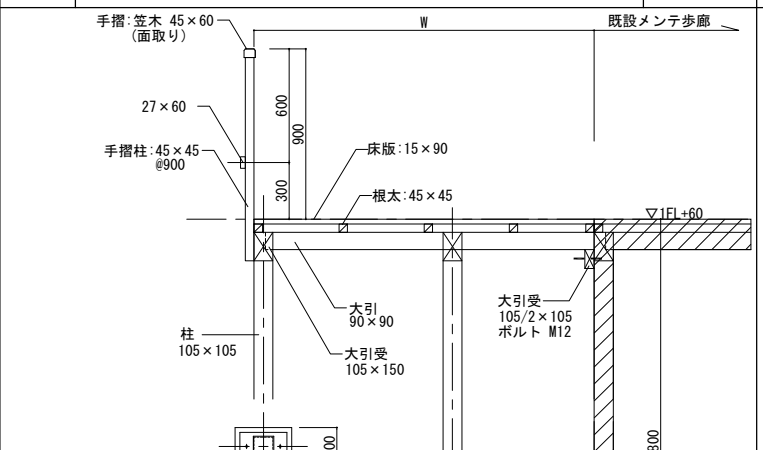
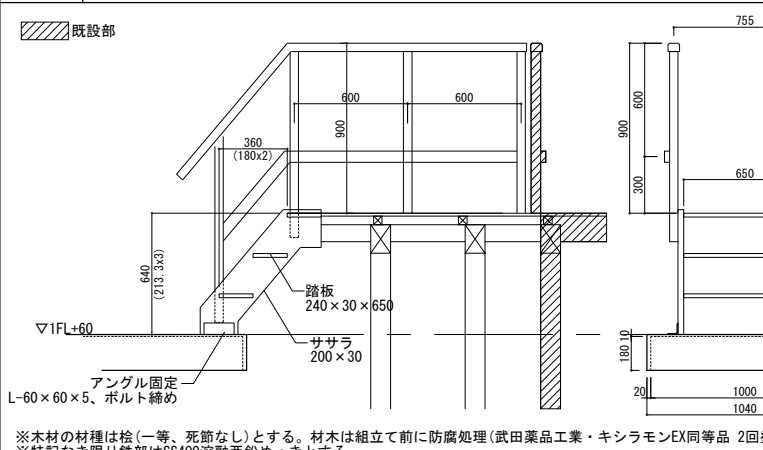
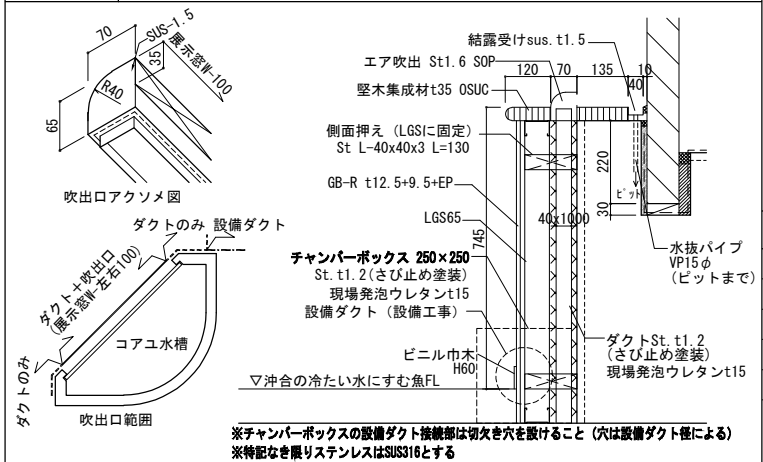
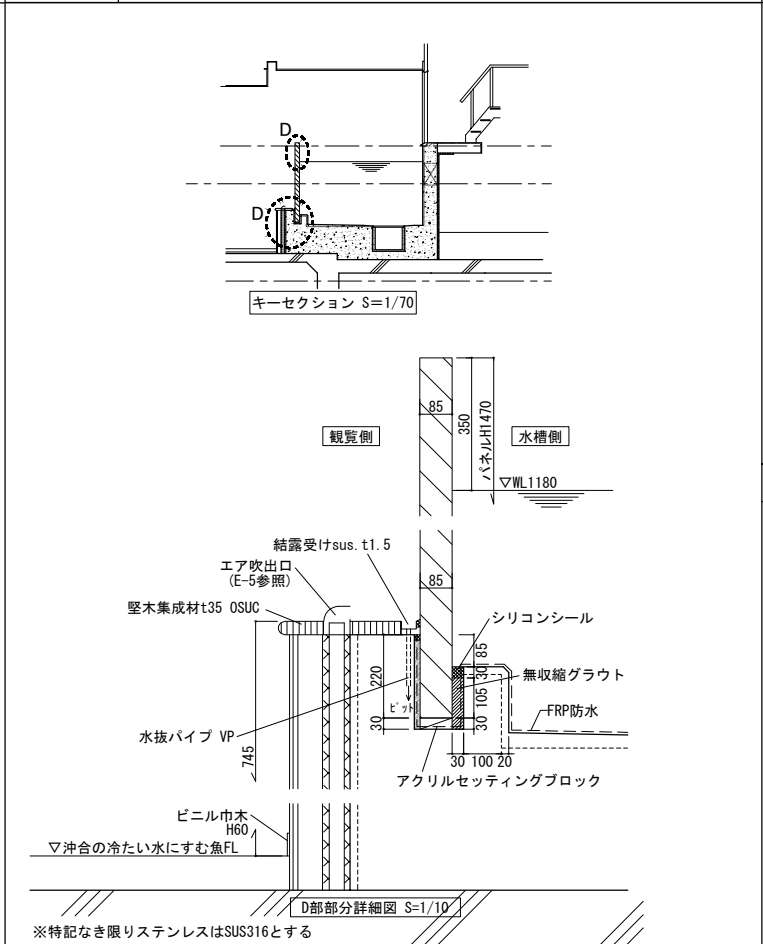
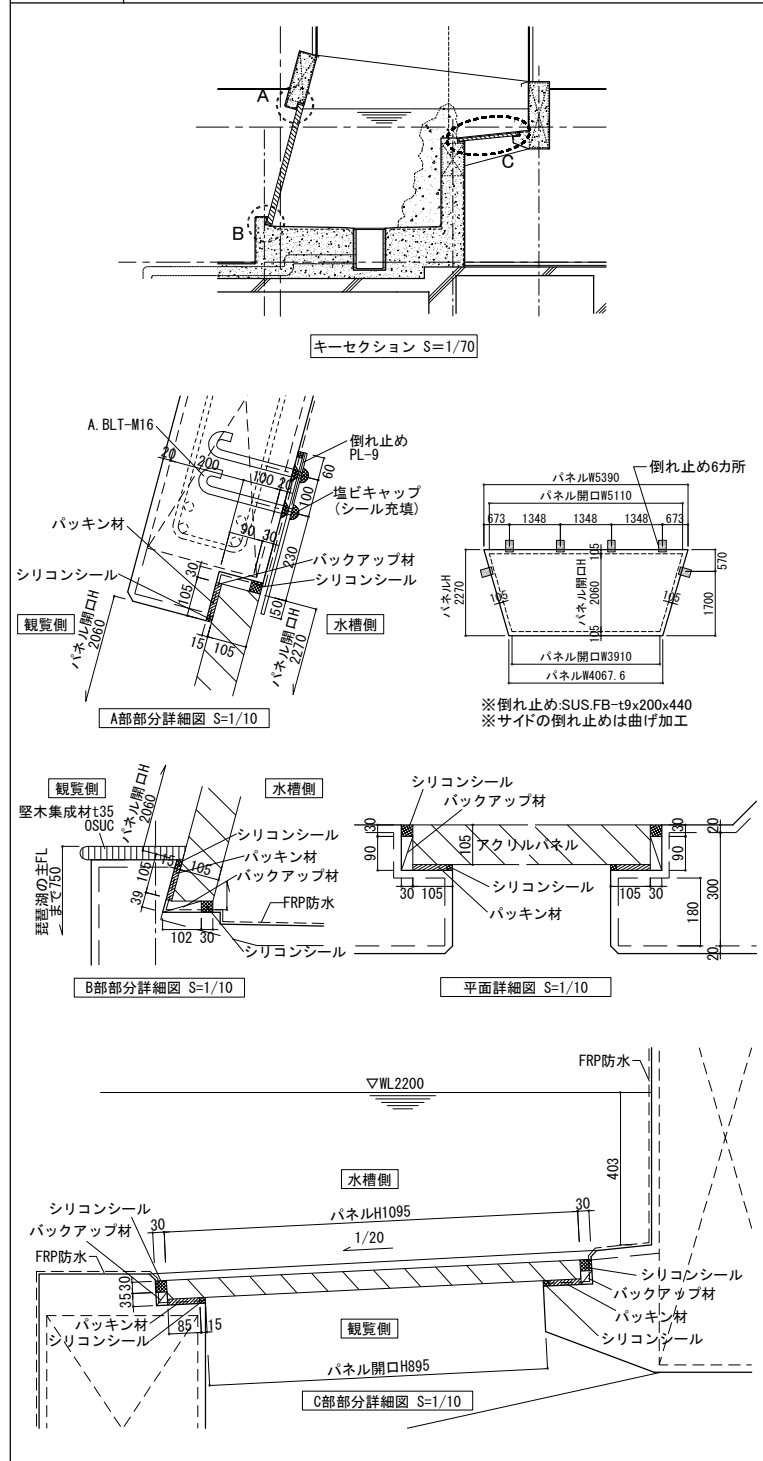
展開図

改修前 琵琶湖の主、通路(5)、沖合の冷たい水に住む魚 撤去範囲



改修後 琵琶湖の主、通路(5)、沖合の冷たい水に住む魚 新設範囲





E-21 配管貫通部防水納り S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

E-22 アンカー部防水納り S=1:2, 1:5 (A1) S=1:4, 1:10 (A3)

E-23 ■水槽毎の防水貫通、アンカー固定器具新設 一覧表

水槽	種別	E-21 (防水貫通部)					E-22 (アンカー部)
		65φ	75φ	100φ	150φ	20φ	
オオナマズ水槽	機械	2	2	—	2	—	—
展示	—	—	—	—	—	—	22
コアユ水槽	機械	—	—	1	—	2	2
展示	—	—	—	—	—	—	5
合計	—	2	2	1	2	2	27

E-24 天井見切 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

E-25 タラップ 図示

E-26 バックヤード・メンテ歩廊階段 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

E-27 新設 点字紙 1/10 1/5

改-01 既存タラップ切断加工 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

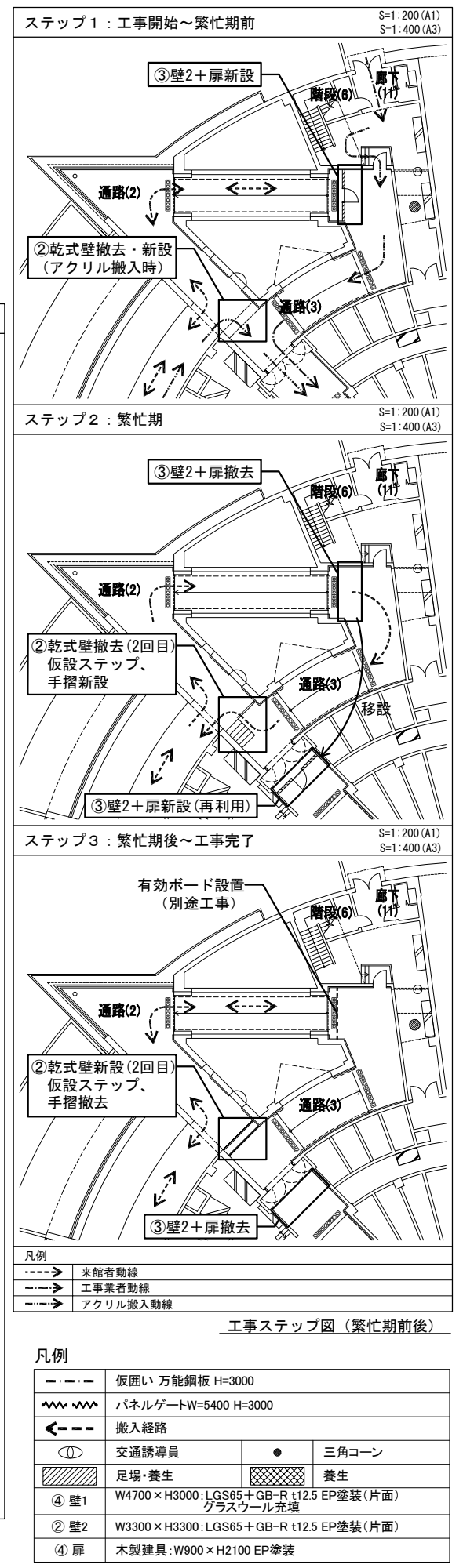
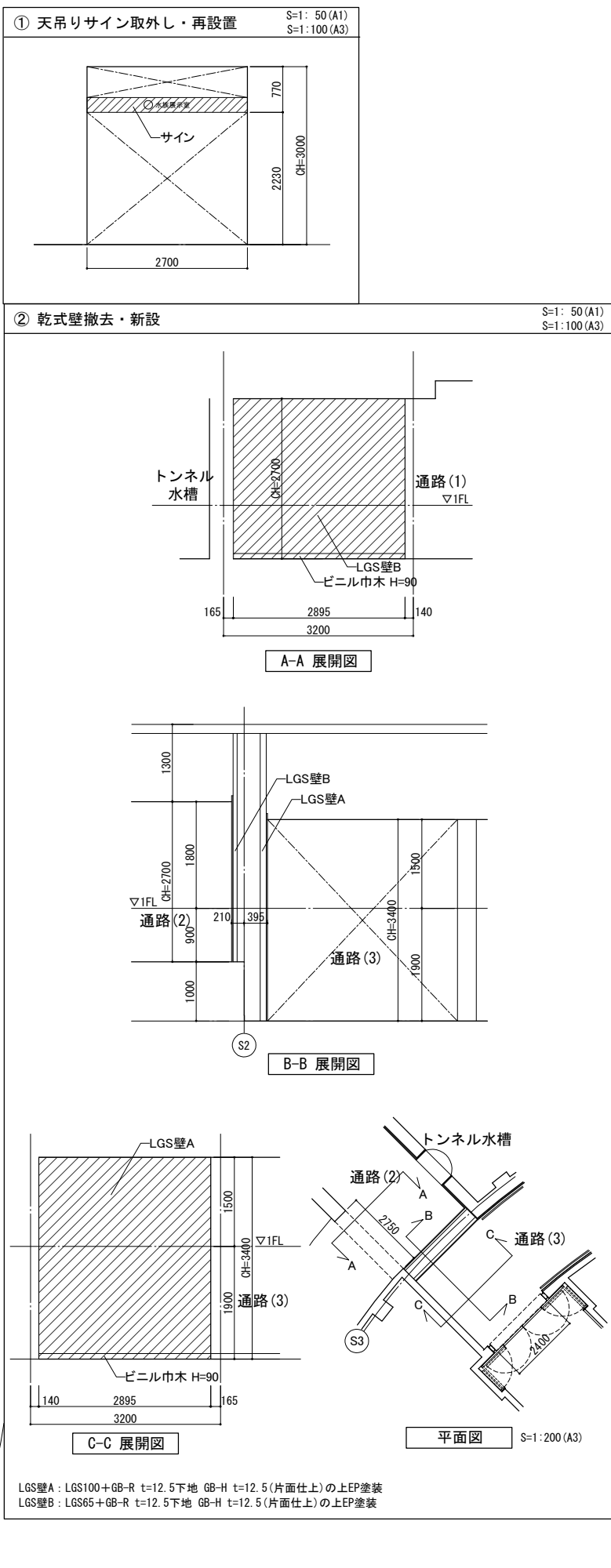
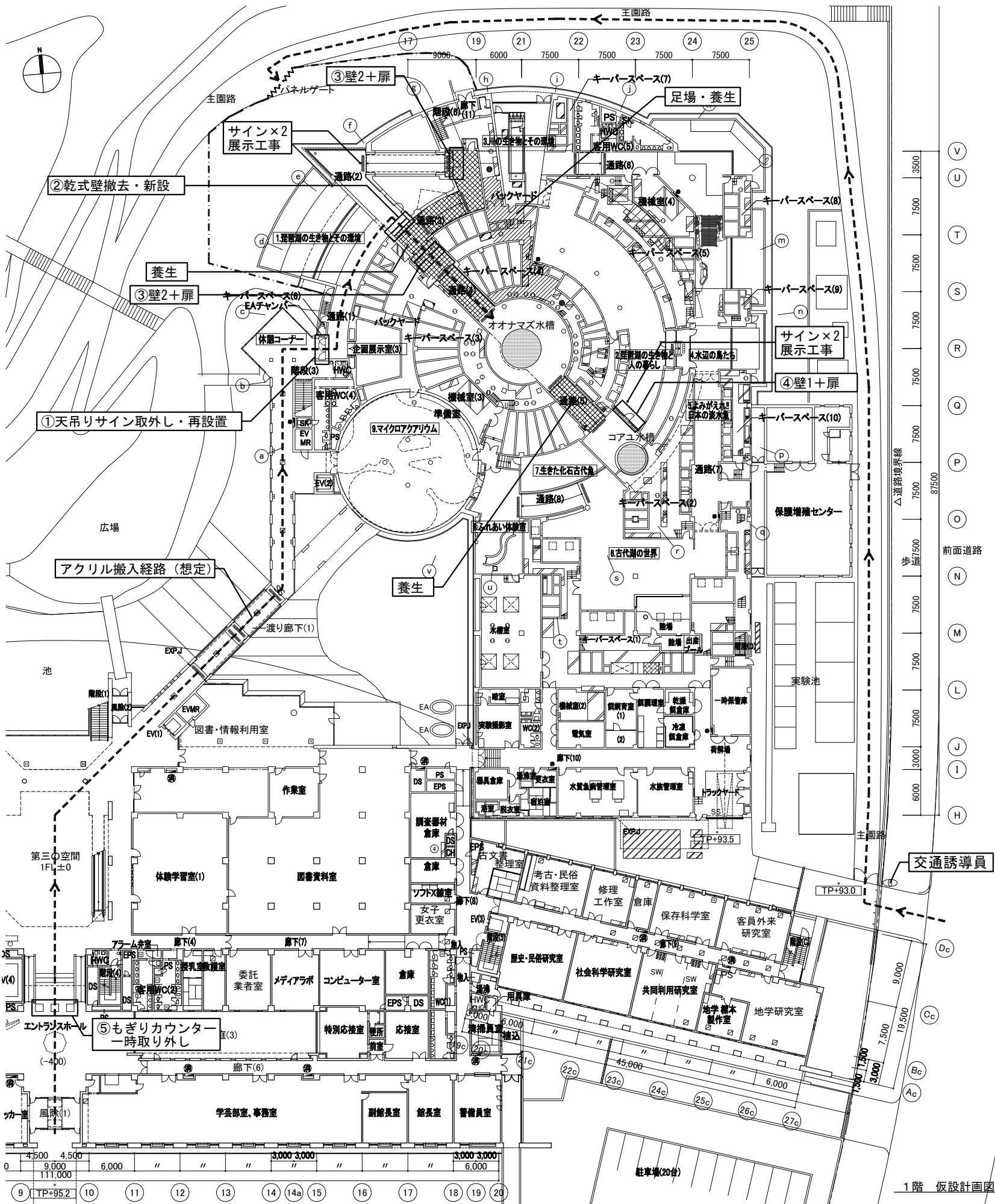
※特記なき限りステンレスはカラーステンレスHLとする

撤去-01 琵琶湖の主水槽巾木 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

撤去-02 エア吹出口カバー S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

撤去-03 タラップ1 S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)

撤去-03 天井エア吹出廻り S=1:30 (A1) S=1:60 (A3)



竣工年月日	
監理者印	
施工者印	

株式会社 大建設	技にこころを	DATE	PRD.J. NO.
一級建築士事務所 大阪府知事登録 第(シ)404号		0-2024-006	
		CHECK	

PRD.J. TITLE	意匠
竣工設計図書・工事ステップ図	
SCALE	DWG. NO.
1:300 (A1) 1:600 (A3)	A-021

凡例

---	仮囲い 万能鋼板 H=3000	●	三角コーン
~~~~~	パネルゲート W=5400 H=3000	■	養生
←---	搬入経路	■	養生
○	交通誘導員	■	養生
---	来館者動線	■	養生
---	工事業者動線	■	養生
---	アクリル搬入動線	■	養生

工事ステップ図 (繁忙期前後)

① 壁1	W4700 × H3000: LGS65 + GB-R t12.5 EP塗装 (片面) ガラスワール充填
② 壁2	W3300 × H3300: LGS65 + GB-R t12.5 EP塗装 (片面)
④ 扉	木製建具: W900 × H2100 EP塗装

LGS壁A: LGS100 + GB-R t=12.5下地 GB-H t=12.5 (片面仕上)の上EP塗装  
LGS壁B: LGS65 + GB-R t=12.5下地 GB-H t=12.5 (片面仕上)の上EP塗装